



提供：宇宙航空研究開発機構（JAXA）

# 学校だより

## CONTENTS

巻頭言 今の取組みが、次のチャンスにつながる／校長 山崎 誠	2
特集<第 56 回卒業式・第 26 回修了式を迎えて>	
卒業生・修了生に贈る言葉	2
各科卒業にあたり	4
専攻科修了にあたり	14
各科卒業研究一覧	16
専攻科特別研究一覧	21
退任挨拶	22
全国高等専門学校体育大会	
全国大会出場報告	25
令和3年度 全国高等専門学校体育大会結果一覧	26
NEWS&TOPICS	27

第125号

2022.3.14 広報委員会発行



独立行政法人 国立高等専門学校機構  
**群馬工業高等専門学校**  
National Institute of Technology (KOSEN), Gunma College

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地 <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

(題字・下田 功 初代校長)

## 今の取組みが、次のチャンスにつながる

校長 山崎 誠

卒業生、修了生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。これまでお子様の成長を見守って来られた保護者の皆様、心からお祝い申し上げます。また、本校の教育をご支援いただいている関係の皆様にお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が始まって2年が経ちましたが、感染が収束する状況にはありません。今年度はほぼ通常授業を続けられましたが、学校行事は制限をかけて実施しました。学生の皆さんには、多くの制約がある中で授業や課外活動を行うことになり、大きな負担をかけました。高専の体育大会は競技毎に形態を工夫して行われ、各種コンテストもオンラインを併用して実施されました。こういう中でも、工華祭、芸術鑑賞会を実施できたのは良かったと思います。そして、多くの困難はありましたが、卒業・修了の日を迎えることができました。学生諸君の健闘を称えたいと思います。

2021年のノーベル物理学賞を米プリンストン大学上席研究員の真鍋淑郎先生が受賞されました。特に注目されたのは、地球の気候をコンピューター上で再現する「気象モデル」を開発し、大気中のCO<sub>2</sub>濃度が上がると地表の温度が上昇することを1967年に示したことです。今日の地

球温暖化現象にいち早く警鐘を鳴らしたことです。気象学の分野がノーベル賞を受賞することも画期的なことで、人類の将来に関わる地球規模の課題が注目された意味は大きいと思います。

群馬高専のキャンパスは、高専の中では自然に恵まれています。渡り鳥が集う西湖、メタセコイヤの並木、春を彩る桜やハナミズキの木々があります。そのキャンパスで自然の豊かさを感じ、人類の未来を夢見て学習や研究をできることは恵まれたことです。

技術者・科学者に限らず私達の生き甲斐は、人のために仕事をすることでしょう。皆さんが立ち向かう課題は難しいものですが、大きな飛躍のチャンスも多くあります。群馬高専で学んだ皆さんはそのチャンスを掴んでください。



## 卒業おめでとうございます

寮務主事 榎本 弘

5年生の皆さん、専攻科2年生の皆さん、卒業、修了おめでとうございます。また保護者の皆様におかれましては、お子様の卒業、修了を心よりお祝い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が始まって丸2年以上になります。授業も感染拡大に伴い数度にわたってリモートになりました。社会見学旅行を始めとする行事の多くが中止となり、研究の総仕上げである発表会も直前にリモートでの開催に変更されました。このような状況下でも皆さんは努力を重ねて卒業を迎えられたと思います。将来間違いなく歴史の教科書に載るであろう「新型コロナ」の時代を今リアルタイムで生きています。従来のような生活を取り戻すにはまだ時間が必要ですが、いずれ「あの時は…」とお互いに話せる時が来ると思います。

このような状況下で新しい世界に羽ばたいて行くのは不安であり、我慢の連続かもしれませんが、自分の可能性を信じて未来を切り開いて下さい。最後にお願ひです。状況が許せば学校に顔を出しに来て下さい。そして是非皆さんの活躍の話を直接聞かせてください。楽しみに待っております。

## 一生勉強 一生青春

後援会会長 吉野 正範

卒業生、修了生のみなさん、おめでとうございます。そして、保護者のみなさま、お子様の卒業、修了を心よりお祝い申し上げます。

卒業・修了生のみなさんには、どのような道に進んでも「幸せな人生」を歩んで欲しいと願います。そのためには、心の持ち方が大切です。

失敗を不幸と思うか、成長のチャンスと思うか。上手く行かない事があった時、言い訳や不平不満を口にして自らの成長や可能性に蓋をしてしまうか、自分に起こった事の責任は全て自分にあると捉え、全ての経験を人生の糧として自分の可能性を信じ、学び続けるか。心の持ち方で人生は変わります。

「自分の人生の責任は全て自分にある」と覚悟を決めて、これからの人生を切り開いてください。親は応援し続けます。自信をもって新しい道を進んでください!

保護者のみなさまには、入学から今日まで後援会活動にご理解、協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。

# 特集 第56回卒業式・第26回修了式を迎えて

## がんばれ!卒業生

教務主事 辻 和秀

群馬高専を巣立つ皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの高専生活はパンデミックの影響を強く受けてしまいました。様々な行事は中止され、学びの機会も残念ながら例年通りとはなりません。悩みや苦労もあり思うようにならない事も多かったと思います。しかし、何を学んだか、何を身に付けたかということよりも、学ぶという経験やその時に悩み苦しむ経験こそが大事なことなのだと思います。「実験レポートが、」、「試験が、」、「卒研が、」と動機は何でもよいのです。卒業後も、学ばなければならない事はたくさんあります。仕事の内容も変わっていきまじ、社会もどんどん変化していくはず。皆さんは、これからも学ばなければならない時が度々あるでしょう。卒業生の皆さんには、そんな時にまた学ぶ準備ができています。ぜひ、群馬高専で学んだ経験を生かして、これから自分がすることを、好きになってください。

## 卒業・修了おめでとうございます!

学生主事 櫻岡 広

5年生および専攻科2年生の皆さん卒業・修了おめでとうございます。

一昨年からの新型コロナ禍で、勉強や部活動・就職・進学などの学校生活で、色々な制約を受け、うまくいかなかったことも多かった2年間だったと思います。

皆さんは、1年生の体育の授業でHIV感染症の授業をしたのを覚えていますか?その時、コロナウイルスではないけれども、レトロウィルスの突然変異の話をしました。その話を覚えていれば、ウィルスが変異するのは当然のことだと思えると思います。幸いにしてCOVID-19もヒトに都合の良い方向へ変異しているように思います。もう少しすれば、既知のコロナウイルスの4種と同様に「風邪」の分類になるのではないのでしょうか。

これから先の人生、皆さんが希望を持って進まれることを切に願います。

## 高専での友人を大切に

同窓会会長 細谷 功

学科卒業生及び専攻科修了生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

皆さんにとっては今後の方向を決める重要な4、5年生の2年間を新型コロナウイルスの影響で休校や遠隔授業等、例年とは違う状況下で卒業研究、編入試験、就職活動等に取り組まなければならない、大変な2年間であった事と思われま。この厳しい状況を乗り越えて、卒業という目標を達成出来た事は大きな経験をえたことと思います。

今後、卒業を期に多くの皆さんは親元を離れ、一人で生活していく事になります。一人で生活していくと学業又は仕事および人間関係等で多くの困難に出会うと思いますが、その時は一人で悩まずに高専時代の友人や恩師に相談すると良いでしょう。高専時代の5年間を一緒に過ごした友人ほど、腹を割って語り合える相手はいないと思います。この先も、本音で語り合える友人をどうか大切に、生涯付き合える友人としてください。

又、群馬高専の卒業生も多くの人達が社会で活躍しています。会社・学校等で先輩がいることが分かったら是非気軽に声を掛けて下さい。良きアドバイスや参考になる話を聞く事も出来ると思います。

最後に卒業生諸君の健康と今後の活躍を期待します。

## 在学生より、卒業される皆さまへ

学生会会長 3J 登坂 真伍

この春新たな門出を迎えられる卒業生・修了生の皆さま、ご卒業・ご修了おめでとうございます。在学生一同、心よりお祝い申し上げます。

この群馬高専を引っ張ってくださっていた方々が、こんなにも早く旅立ってしまうことに、時間の流れの速さと寂しさを感じています。皆さまと共に過ごした日々は、私たちにあってかけがえのない時間であり、皆さまのおかげで、学校生活はより一層輝かしいものとなりました。そして世間が逆風にさらされている中、力強く前に進み続けてきた先輩方の背中には、私達を先へ先へと導いてくださいました。いつの日か私達もその背中に追いつくことができるよう、受け継いだ伝統を胸に、日々精進してまいります。本当にありがとうございました。

この5年間で知識と技術を身に着けた皆さまは、まさしく時代の先駆者となっていくことでしょう。群馬高専で懸命に駆け抜けてきた日々を心に刻み、新たな時代への道を切り開くことができるよう、在学生一同心より応援しております。



## 保 護 者 よ り

### 忘れないで!

機械工学科 5年  
森内悠登さんの保護者  
**森内 敦子**

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。  
5年前、群馬高専に合格し、晴れて高専生になった時の喜びも束の間、普通の高校生との違いに驚くばかりでした。傍目にもだいぶ迷走した日々を送っていましたが、レポート提出や試験勉強など、いろいろな課題に悪戦苦闘しながら、一緒に立ち向かう仲間もでき、とても安心しました。今では、息子が良い環境に恵まれ、充実した学生生活を送れた事をとても嬉しく思います。

この春、皆さんは就職、進学とそれぞれの道へ進みます。群馬高専の5年間で十分自信をつけたことと思います。どうか自分の可能性を信じ、1日1日を悔いのないよう頑張ってください。ただ、無理をせず、食事と睡眠を必ず摂り、健康には十分気をつけてください。心より応援しています。

最後に、今日までご指導くださった諸先生方、学校関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

### 大変お世話になりました

機械工学科 5年  
**森内 悠登**

2017年に高専に入学してから早いもので5年が経ちました。振り返ってみると、長いようでとても短い高専生活だったように感じます。しかし、その時間はとても濃密でかけがえのないものでした。勉強会や工華祭でのハリポタエレジーなど様々な思い出がありました。

研修旅行でお昼に1人で饅頭を食べに行き、喉に詰まらせてお店にご迷惑をおかけした上に、集合時間に遅れて同じクラスの人にいじられたのも今となってはいい思い出です。

現在新型コロナウイルス感染症の影響で様々な制限によって、研修旅行も行くことが出来ない状況ですが、今後研修旅行に行けるくらい社会が落ち着いたら皆さんはお昼に1人で饅頭を食べに行かないことをおすすめします。ぜひお昼は友達と食べに行ってください。

最後に、今まで熱心に指導してくださった先生方、私たちを支えてくれた保護者の皆様、そしていつも僕を支えてくれた5Mのみんなに心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

## 時代の変化に柔軟に対応を

機械工学科 5年 担任 **花井 宏尚**

5Mの皆さん、卒業おめでとうございます!3年次より担任を受け持ったこの3年間は、自分にとってあっという間でした。3年次の冬に始まった新型コロナウイルスによるパンデミックは学生生活を一変させてしまいましたね。4年次前半は慣れないオンライン授業となつてしまい、勉強環境の変化に戸惑ったことと思います。また、部活動が出来なかったり、私生活が制限されたり、とてもストレスがたまつたことでしょう。楽しみの研修旅行など学校イベントや部活動最後の大会などもなくなつてしまい、とても残念な高専生活となったことと思います。そして気づけば就活や受験と、あっという間に進路選択が迫ってきました。

多くの人は、「コロナがなければ・・・」「こんなはずではなかった・・・」「コロナが悪いんだ」などと思っていることでしょう。まだまだ先の見えない状況にとっても不安になっていると思います。しかし、こんな状況だからこそ、希望を捨てず、いつも通りの生活を心がけて欲しいと思います。そして、状況の変化に対応する柔軟な気持ちを持つ

て欲しいと思います。世界はもう元に戻らないかもしれませんが、だからと、何もかも諦めてしまわなければならない、もしくは、行動を起こさなくてよい訳ではありません。いつ世界が戻ってきても、すぐに日常を取り戻せる準備しておくことが大事です。執筆時はまだまだコロナ禍の中であり、どのような世界が待っているかわかりませんが、希望を捨てず次のステップへ進んでください。

今後、地球温暖化、SDGs、そしてコロナパンデミック、これらをきっかけに世界の多くの常識が急激に変化することと思います。自分が信じている価値観は多くの人が変わるかもしれませんが、しかし、これからの社会で求められるのは、柔軟に対応する気持ちと変化を受け入れる心にあると思います。これまでの常識に固執したり、気に入らない変化を排除したりせず、状況に合わせた行動がとれる人間になってください。大人になると、お金や時間など自由が増えます。それと共に責任もやって来ます。自分を律し、まわりに認められる良き大人になってください。

## 卒業生進路一覧

※( )内は人数

### 進 学

- 群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (4)
- 室蘭工業大学創造工学科航空宇宙工学コース
- 東北大学工学部機械知能・航空工学科
- 群馬大学理工学部機械知能システム理工学科
- 千葉大学工学部総合工学科機械工学コース (2)
- 東京農工大学工学部機械システム工学科 (2)
- お茶の水女子大学理学部物理学科
- 横浜国立大学理工学部数物・電子情報系学科情報工学EP
- 新潟大学工学部人間支援感性科学プログラム
- 長岡技術科学大学機械創造工学課程 (2)
- 長岡技術科学大学情報・経営システム工学課程
- 金沢大学理工学域フロンティア学類
- 山梨大学工学部機械工学科 (3)
- 信州大学繊維学部先進繊維・感性工学科感性工学コース
- 豊橋技術科学大学工学部機械工学課程
- 琉球大学工学部工学科エネルギー環境工学コース
- 進学希望 (9)

### 就 職

- 日本発条株式会社
- 株式会社 JAL エンジニアリング (2)
- 株式会社モリタ東京製作所
- 株式会社小松製作所
- パーソル R&D 株式会社
- 株式会社岡本工作機械製作所
- 日本オーチス・エレベータ株式会社



保護者より

輝く未来へ

電子メディア工学学科 5年  
藤井愛朗さんの保護者

藤井 清一

ご卒業おめでとうございます。就職する者、進学する者、道は違っても群馬高専でともに学んだ日々を自信にして、置かれた場所で花を咲かせてください。

卒業する皆さんに臆の言葉を贈ります。滑空するグライダーは、向かい風において快適な飛行が生まれます。人生のアゲインストに遭遇したら、羽ばたくチャンスだと考えてください。海の上を優雅にすべる帆船は、追い風において推進力が向上します。帆の向きを適切に変化させれば、横風も向かい風の時でも目的地に向かうことができます。これからの人生でいろんな風が吹くと思いますが、どんな風も受け入れて力に変えてください。

今、卒業を機に、あなたに向かって素敵な風が吹き始めました。強い者が生き残るのではなく、賢い者が生き残るのでもない、環境の変化に順応する者が生き残るのです。

皆さんは、変化する社会の先端で活躍する重要なエッセンシャルワーカーとなる重要な人材と言っても過言ではありません。それぞれの道で覚醒されることをお祈りいたします。

長いようで長くないちょっと長い5年間

電子メディア工学学科 5年

簾谷 京平

高専生活は長いようで短いものでした（ちょっと長い）。思い返すとこの5年間でいろいろなことがありました。特に、コロナウイルスの流行によって、気軽に外出できなくなったり、授業がオンライン授業になったりと、学生生活が大きく変わってしまいました。それでもここまでやってこれたのには、クラスの友人の支えがあったからだと思います。私のクラスは特に個性的なメンバーが多く、パンツで授業を受ける人や、大きなぬいぐるみと一緒に登校している人までいました。そんな私たちもあと数か月で卒業し、それぞれの道に進むこととなります。その先で壁にぶつかり立ち止まることもあるかもしれませんが、高専5年間（もしくは6年間）を生き抜いた私たちならたぶん大丈夫でしょう。自分は専攻科に進むことになり、今まで以上に授業や研究が忙しくなるとは思いますが、自分の決めた道をしっかりと突き進んでいきたいです。

最後になりますが、今まで指導して下さった先生方、保護者の皆様、そしてクラスのみんな、5年間本当にありがとうございました。



弱さの中にこそ強さがある

電子メディア工学学科 5年 担任 佐々木 信雄

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、ご家族の皆様、心よりお祝い申し上げます。担任としては一年間と、短い間でしたが、中身の濃い一年だったと思います。こんなコロナ禍の環境下でも、高専の生活を楽んでいるな、という印象を受けました。伊香保温泉まで自転車で行って来たり、無線通信愛好会を設立したりと、さすが高専の自由な気風の中で育ってきた学生だけのことはあります。特に工華祭でのミニFM局の開設は、いろいろと制限を課された中での開催となった工華祭に、花を添えてくれたのではないかと感じています。

この2年間は世界的な観点からも、個人的にも、大変な時期でした。新型コロナウイルスが猛威を振るい、皆さんが4年生のときには、数か月間オンライン授業を強いられることになりました。今思えばそれもいい経験だったかもしれません。この2年で確実にグループウェアをクラス運営に活用したり、授業のサポートに使ったりするようになりました。しかしオンライン授業に関してはまだまだ改善の余地があると反省しています。

今だから言えますが、2年半前、病気にかかりました。いまだに原因はよく分かりませんが、その後遺症で自律神経失調症と診断されました。健康診断では何の異常もないのに、体の不調が続き、一時は仕事を辞することも考えました。そんなときに次の言葉に出会いました。「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」。弱いときにこそ強い。この言葉にだいぶ救われました。その後体調は一進一退をくりかえしつつ、少しずつ回復へ向かっていますが、完治することは難しいと思います。しかしあの辛い経験を耐えたことには意味があったと今では思えるようになってきました。

高専を巣立っていく皆さんも、これから様々な経験をされることと思います。自分ではどうしようもない困難に直面する時が来るかもしれません。そんなときに一度立ち止まって「弱いときにこそ強い」という言葉の意味をよく考えてみてください。

皆さんの今後のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。

卒業生進路一覧

※( )内は人数

進学

- 群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (9)
- 舞鶴工業高等専門学校専攻科総合システム工学専攻
- 室蘭工業大学理工学部創造工学科電気電子工学コース
- 秋田大学理工学部電気電子工学コース
- 東北大学工学部電気情報物理工学科電気・情報関係 5コース
- 筑波大学理工学部群工学システム学類
- 筑波大学情報学群知識情報・図書館学類
- 群馬大学理工学部電子情報理工学科電気電子コース (3)
- 埼玉大学工学部電気電子物理工学科
- 山梨大学工学部電気電子工学科
- 長岡技術科学大学電気電子情報工学課程 (2)

就職

- NTT 東日本グループ会社 (5)
- 本田技研工業株式会社
- 株式会社コロナ
- 株式会社ヒップ
- 東日本旅客鉄道株式会社
- 株式会社吉野工業所
- 就職希望





## 「変化」を楽しむ適応力

電子情報工学科 5年 担任 川本 真一

5年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。4年生と5年生のクラス担任を受け持たせていただきました。振り返れば「変化」への適応が求められる2年間でした。2020年4月に4年生の担任を受け持った当初は短期間でオンライン講義への対応が求められる状況でした。試行錯誤しながら進めてきたオンラインでの授業にも今年度5J卒業生は比較的素早く適応していたという印象があります。4年次の社会見学旅行は中止、2019年以前のようなインターンシップもほぼ出来ず、さまざまな活動が制限される状況の中でも、卒業生は弛まず学業生活を継続してきたものと思います。インターネットなど多くの情報が氾濫していた中で、みなさんがデータを基に情報を適切に読み解き、新たな生活様式を理解し、冷静に学びを継続してきた結果、卒業にたどり着くことができたものと考えています。

「変化」はチャンスのお供ともなります。技術の発展により生活様式や社会が変化してきたように、時代の変化による価値観の変化と多様化、新たな生活様式の浸透など社会の変化の中で新しいニーズが見いだされ、大

きく成長している分野もあるでしょう。急速にリモートワークなどが導入され、働き方の変化も進んでいます。ぜひ「変化」を楽しんでみてください。コロナ禍において、変化に適応しながら卒業を成し得たみなさんであればきっと、高専生活の中で学んだことを多様な視点で捉え、変化し続ける社会にも柔軟に適応し、それぞれが活躍できる場を見いだしてくれるものと信じています。

卒業は新たな生活のスタートラインです。それぞれが選んだ進路での新たな環境でもきっと、変化を理解し適応するための「学び」は続くこととなるでしょう。高専での学びや高専生活の中で得た経験を、どのように生かしていくかはみなさん次第です。卒業したみなさんの活躍には多くの人が注目しています。企業や大学は、卒業生である皆さんを通じて高専を知りたいでしょう。進路選択時に卒業生の進路を目標とする在校生もいるでしょう。新たな入学生やその保護者が高専を選ぶときにも、卒業生の進路を参考にしてください。卒業後の皆さんの活躍を楽しみにしています。

## 卒業にあたって

電子情報工学科 5年  
中島 弘翔

学生会長として学校だより第119号の“卒業生を送る言葉”を執筆してから早2年、あっという間に送り出される側となってしまいました。時の流れとは不思議なもので、長いと思っていた1コマ90分の授業を積み重ねた5年間はとても短かったと感じられます。そんな5年間を振り返ると、もっと効率よく時間を使えたのではないかと後悔は残りますが、それ以上に得られ、身についたものが多くあったように感じています。

授業や試験、幾多の課題やレポートに取り組む中で、中学生までの学問に対する向き合い方、学び方を改めさせられ、基礎を真に理解し、積み重ねることが重要であると痛感しました。そんな中で私たちに身についた専門的な知識は5年間の努力の賜物です。

また、とても良い仲間に出会えた5年間は何物にも代え難いものとなりました。専門性をもった教職員方や、大きな信頼を寄せてくれた後輩たち、様々な話を聞かせてくれた他高専の学生、そして何より、親しくしてくれた同級生たちには感謝してもきれません。夜遅くまで一緒に机に向かった時間や、無駄話や遊びで盛り上がり、効率悪く使っていた時間でさえもかけがえのない思い出となり、1秒たりとも無駄のない有意義な5年間を過ごせたと思います。

私たちは卒業し、各々の道に進んでいきます。5年間で得た学びや仲間との交流を糧にして新たなスタートを切りたいと思います。

## 卒業生進路一覧

※( )内は人数

### 進学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (5)  
千葉大学工学部総合工学科  
群馬大学理工学部電子情報理工学科情報科学コース  
群馬大学理工学部電子情報理工学科電気電子コース  
群馬大学社会情報学部社会情報学科  
長岡技術科学大学工学部電気電子情報工学課程  
長岡技術科学大学工学部情報・経営システム工学課程  
新潟大学理学部理学科数学プログラム  
富山大学工学部知能情報工学コース  
足利大学工学部創生工学科システム情報分野情報デザインコース  
バンタンゲームアカデミー (2)  
進学希望

### 就職

アマゾンジャパン株式会社  
株式会社qnote  
株式会社スリーエス  
サンデンホールディングス株式会社  
アドバンスプランニング株式会社  
NTT東日本  
キヤノンシステムアンドサポート株式会社  
フジテック株式会社  
自営  
公務員希望  
帰国



## 保護者より

### 多様な調和を。

電子情報工学科 5年  
中島弘翔さんの保護者  
中島 裕子

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

5年前、息子が高専に入学してから間もなくして、私は心配と不安でいっぱいになったことを思い出します。ついこの間まで中学生の子どもだった息子の生活が、一気に大人びたもの変わったからです。学生会の交流会で一人で県外まで出向いたり、課題をこなすために学校に残っては夜遅く帰宅したり…。しかし、私の心配などどこ吹く風の息子は、実に楽しそうに学生生活を送っていました。そんな充実した日々を過ごす姿に、たくましさや成長を見ることができました。これもひとえに、良き先生方、良き仲間と出会ったからこそ感謝しております。

コロナ禍で、以前の当たり前が通用しない日々が続いています。変化した生活様式の中で戸惑いもあることでしょう。ですが、高専で学んだ皆様は、どんな変化にも対応できる術と力、多様性を身につけられていると思います。どうぞこれからの明るい未来のために、皆様の力を思う存分発揮してください。

応援しています。



保護者より

きっと明るい未来が待っている!

物質工学科 5年  
近藤 陸斗さんの保護者

近藤 和紀

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

群馬高専の門を叩いて早5年、もう卒業するのか…というのが率直な気持ちだと思います。そんな皆さんに、お祝いと今後への期待を込めてエールを贈ります。

皆さんは、多分、これから始まる新しい生活に大きな不安を抱えていると思います。でも、その心配は全く以ていきりません。なぜなら、皆さんは群馬高専で5年間の非常に厳しいカリキュラム（定期試験、実験、卒研など）を苦勞しながらも着実に修得（パス）して、既に相当な力が身についています。私は多くの高専卒業生を知っていますが、皆さんいずれも活躍しているように見えます。ですが、これは高専卒が理由ではなく、社会に出てからも日々勉強、努力された結果だと思います。なので、皆さんも引き続き一生懸命勉強に取り組み、努力すれば、きっと明るい未来が待っているはずですよ！負いわず自信を持って前に進んで下さい。高専OBの一人として、皆さんの今後の活躍に期待しています。卒業おめでとう！！

駆け抜けた5年間

物質工学科 5年

岩淵 真也

あっという間の5年間でした。入学式がつい先日のことのように感じます。そんな5年間を共に過ごしてきた仲間たちと卒業できると思うと感慨深いです。

高専5年間で反省することがあるとすれば、高専の環境をもっと活用できたのではないかとことです。群馬高専には専門知識豊富な先生方がたくさんいらっしゃいます。いろいろな先生方とお話すればよかったなと、今ではそう思います。この文章を読んでいる在校生は、ぜひいろいろな先生とお話してみてください。

卒業後はみんなそれぞれの道に進みます。高専での経験を活かして皆が頑張っているところを想像すると、自分も頑張れるような気がします。お互い頑張りましょう。それでも辛くなる時があるかもしれません。そんな時は、一緒にご飯を食べてお話ししましょう。

最後になりますが、5年間指導していただきました先生方やいつも支えてくれた保護者、そしてお互いに切磋琢磨しあってきた友人たちに心より感謝を申し上げます。

祝☆卒業～高専卒業生に幸あれ！

物質工学科 5年 担任 大岡 久子

「ご卒業おめでとうございます！」きっとたくさんの人からこの言葉を受けて卒業されていくことと思います。私も担任としてこの言葉を皆さんに贈ることができ、非常に嬉しく感慨深いものがあります。卒業しても時々高専を思い出してください。何かあったら、もしくは何もなくても、たまには連絡をくれたり顔をみせてもらえたりしたら嬉しいですよ。

さて、皆さんの担任となったのは、4年生からでした。ちょうど“コロナ禍”を身近に感じ始めた頃で、新学期早々の休講、GW明けからの遠隔授業と、高専生活が激変した時期でした。対面授業が始まっても感染防止対策徹底に留意しながらの生活は、心身ともに疲弊する日々だったと思います。そのような苦難の4、5年生を乗り越えて、無事に卒業の日を迎えられた皆さんのことを誇らしく思います。

ウイルスは変異しやすく、新たな変異株の出現に私たちは憂い、今後もその心配は尽きないでしょう。しかし、このコロナ禍の中で、私は技術の進歩にも驚かされました。新型コロナウイルスのゲノム解析、検出方法（RT-PCR法

をはじめとする核酸解析方法や抗原検査など）、ワクチンの開発（RNAワクチンの登場）、治療薬の開発など、すべてが迅速かつ巧妙であり、これまでの常識が良い意味で覆されました。また群馬県のワクチン大規模接種センターの仕組みも素晴らしいと感じました。たくさんの人の予約・接種管理技術や、接種に際する誘導システムなど、様々な工夫がされており感心しました。

高専の高学年として過ごした2年間は、ウイルスの脅威に振り回されつつも技術の進歩を感じることでできた2年間だったと思います。私たちが懸念する危害はウイルスだけではなく、地球規模での異常気象や地殻変動など、今後も新たな災いに直面することもあると思います。しかし、私たち人間はこれまでも幾度となく困難を乗り越えてきました。そして、今後、人類を救う中心となるのが、これからのあなたたちです。皆さんには、その力があります。今後もいろいろな経験を積んで自分を磨いてください。これからの皆さんの人生が、一人ひとりにとって輝かしく幸せなものであることを心よりお祈り申し上げます。

卒業生進路一覧

※（ ）内は人数

進学

- 群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻 (11)
- 群馬工業高等専門学校専攻科先端テク/ロジ-実践連携教育プログラム (2)
- 室蘭工業大学工学部システム理化学科化学生物システムコース
- 筑波大学生物環境学群生物資源学類
- 群馬大学理工学部環境創理工学環境エネルギーコース
- 千葉大学工学部総合工学科共生応用化学コース
- 東京工業大学生命理工学院生命工学系
- 新潟大学工学部工学科材料化学プログラム
- 長岡技術科学大学工学部物質材料工学課程 (3)
- 長岡技術科学大学工学部生物機能工学課程 (2)
- 金沢大学理工学域生命理工学類海洋生物資源コース
- 信州大学繊維学部化学・材料学科
- 信州大学理学部数学科
- 長野農業大学校総合農学科農業経営コース果樹専攻
- 進学希望 (3)

就職

- 信越化学株式会社
- 株式会社吉野工業所
- 三菱ガス化学株式会社
- 旭化成株式会社
- 日本たばこ産業株式会社
- アイング株式会社
- 三益半導体工業株式会社
- 共同技研化学株式会社
- 就職希望 (2)





## 勁草の如く、困難や試練にしっかりと立ち向って乗り越えよう!

環境都市工学科 5年 担任 谷村 嘉恵

環境都市工学科5年生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、ここにお子様の門出を迎えられたご家族の皆様にご心よりお祝い申し上げますとともに、これまでクラス運営にご理解とご協力を賜りましたことに篤く御礼を申し上げます。

群馬高専で学んだ5年間はいかがでしたか。新入生の皆さんを迎えた初めての専門授業である測量実習を野球場の芝生で行った風景を鮮明に覚えています。元気に取り組む皆さんの姿に私も感化されました。3年次始業式、当日の早朝に皆さんを迎えるために黒板にメッセージを描きました。皆さんの嬉しそうな反応に私も嬉しくなりました。皆さん全員が企画し運営した「工華祭」は、大成功でした。改めて3Cのチームワークに感激しました。1日バス旅行では、見学先で皆さんが積極的に学ぶ姿勢がとても良かったです。バスでのカラオケは大いに盛り上がり、皆さんと一緒に「アンパンマン」を合唱したことは一生の思い出になりました。4年生になった頃は新型コロナウイルスが猛威を振るう中、数か月間オンライン授業が中心となり、実験実習は夏休みに集中して行

いました。教える側の私たちも不慣れで戸惑うこともありましたが、皆さんも今までのない形の授業に違和感を覚えたことでしょうか。その中でも皆さんは弛まず勉学に励み、進むべき進路を考え、着々に準備を始めていました。5年生になって就職・進学活動が本格的になり、皆さんが真剣に取り組む姿に感動しました。そして、5年生の一番時間数の多い授業「卒業研究」では、皆さん一人一人が失敗に恐れずに最大の努力をし、先日の卒業研究発表はとて立派でした。

4月から新しい環境に邁進する環境都市工学科第21期生の皆さんに、はなむけの言葉として中国のことわざ【疾風知勁草】を送ります。強い風が吹き荒れるときこそ強い草の存在を知ることができ、困難や試練に出会ったときに初めてその人間の強さや真価を発揮することができます。今後、皆さんには楽しいことも苦しいことも沢山あることでしょう。強い疾風に負けない勁草の如く、困難や試練にしっかりと立ち向かい乗り越えることができるでしょう。皆さんの未来に期待を込めて贈る言葉とさせていただきます。

## 5年間を振り返って

環境都市工学科 5年 唐沢 和輝

5年間、意外と短かったと感じているのは僕だけではないと思います。

1年生の時、ちょっと変わった学校だな、変わった人が多いなと思っていたのですが、2年生の時にC科のO君にお前も十分変わっているといわれてショックを受けたことが、昨日のことのように思い出されます。

3年生の時には、C科のみのクラスになりました。クラスの人には怒らないでほしいと思いますが、群嶺のクラス紹介で、このクラスは小学生なのか高校生なのかかわからないクラス（少なくとも年相応じゃない）と書きましたが、もう一度3年生からの記憶を辿っても、間違っていないと改めて思います。4年生の時の球技大会で、容赦のない教職員チームに大敗を喫したことは一生消えない心の傷になりかけました。

そして5年生の時、就活、受験、研究と最後の年になって一番濃い年でしたが終わってみればいい思い出になりました。これだけ濃く、印象に残る生活が送れたのは、先生方、そして友人に恵まれたからだと思います。

5年間、ご指導いただいた先生方、そしてC科のみんな、本当にありがとうございました。

## 保護者より

### 楽園より羽ばたけ

環境都市工学科 5年 小松由依さんの保護者 小松 由紀子

ご卒業おめでとうございます。

群馬高専での日々は、多くのことを見聞きし体験できた貴重な日々だったことでしょう。

我が子が高専に入学したご縁で、西湖の野鳥観察会に参加しました。そこは鴛やカワセミが集う楽園となっていて驚きました。

後に我が子は、西湖の環境について研究することになりました。西湖にボートを浮かべたり、野生動物について調査したり、とても充実した日々で恵まれた研究環境にとても感謝しています。

これからみなさんは高専から新しい場所に旅立つこととなります。どうか遠く高く羽ばたく事を期待いたします。

## 卒業生進路一覧

※( )内は人数

### 進学

群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻 (5)  
北見工業大学工学部地球環境工学科  
新潟大学工学部社会基盤工学プログラム  
長岡技術科学大学工学部社会基盤工学課程 (2)  
宇都宮大学地域デザイン学部社会基盤デザイン学科  
群馬大学理工学部環境創生理工学科 (2)  
群馬県立女子大学文学部美学美術史学科  
山梨大学工学部土木環境工学科  
信州大学工学部水環境・土木工学科  
金沢大学理工学域社会基盤学類 (2)  
岐阜大学工学部社会基盤工学科  
高知大学理工学部地球環境防災工学科  
九州大学経済学部経済工学科  
研究生

### 就職

長野県  
東日本旅客鉄道株式会社 (JR東日本)  
東日本高速道路株式会社 (NEXCO東日本)  
NTTインフラネット株式会社  
佐田建設株式会社  
五洋建設株式会社  
西武建設株式会社  
中島工業株式会社  
オリエンタル白石株式会社  
株式会社ピー・アイ・ティー  
株式会社NIPPO  
長谷川体育施設株式会社  
エヌエス環境株式会社  
碓氷峠交流記念財団  
ザスバ草津チャレンジーズ





保護者より

頂上から見る景色

生産システム工学専攻 2年  
大河原礼王さんの保護者

大河原 良栄

専攻科生のみなさん、修了おめでとうございます。課題やレポートなど大変な思いをすることもあったと思います。その苦難を乗り越え、よく頑張ってここまで来ました。

山頂手前に居る専攻科生のみなさん、そこから頂上は見えていますか？一本道のその先にしっかり頂上が見えるとは限りません。また、分岐点や険しい道が出てくることもあるかもしれません。ですが、今までの高専での学びや経験を信じて前進してください。時には休憩をして迂回コースをゆっくりと、ある時にはショートカットして、自分のその時のペースで進めばいいのです。多少の道迷いもあるでしょう。しかし、滑落せずに一歩ずつ確実に頂上を目指してください。そして、素晴らしい山頂からの景色をバックに満面の笑みの貴方の写真を見せて下さい。私の知らない世界の話を沢山聞けることを楽しみにしています。

そして何より、山頂一步手前まで導いて下さった諸先生方、職員の皆様方に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

自転車に乗れるようになろう！

環境工学専攻 2年

齋藤 溪太

私たち専攻科生は、本科で5年間、その後専攻科で2年間の計7年間で群馬高専で過ごしてきました。そんな7年間の高専生活で培った知識、経験、友人関係は人生における財産だと思います。

ここでそんな7年間の中で印象に残っている私の恩師の言葉を紹介します。私の恩師はよく「自転車に乗れるようになれ」といいます。初めて聞いたとき私は頭に“？”が浮かんでいました。皆さんが初めて自転車に乗れるようになった時のことを思い出してみてください。最初はとても苦労しますが、なぜか一度乗れると次からは容易に乗りこなすことができます。これは自転車だけではなく、英語での研究発表や、プログラミングなどもこれと同じで、最初は苦労するものの、経験していけばそれが自然体でできるようになっていきます。つまり、「自転車に乗れるようになれ」は何事も積極的に経験を積んで自然体でできるようになっていくことが重要というメッセージでした。

これから専攻科を修了し新たなステージに進みます。その先では新たな経験ばかりだと思いますが、積極的に経験することで何事も早く自転車に乗れるようになりたいと思います。

世界で活躍する技術者を目指せ！

専攻科長 太田 道也

専攻科修了生の皆さん、おめでとうございます！

ご家族の皆様方におかれましては、この2年間、専攻科教育にご理解とご支援・協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げますとともに心よりお祝い申し上げます。

さて、令和2年度以降新型コロナウイルス禍にあって、皆さんにとっては授業や特別研究、学会発表、就職面接、大学院入試などが大きく様変わりしたと思いますが、日常生活から世界経済までが計り知れないほどの影響を受けております。しかし、我々はこの難局を乗り越えて新しい世界観を構築し、発展しなければなりません。例えば人流・物流は、地球規模で一体化したグローバル化が加速するでしょう。技術者は今まで以上に日本に居ながら世界の動向を見据えつつイノベーションを目指さなければならない、世界が活躍の舞台になり、オンラインミーティングが日常的になります。そこには、共通言語として

の英語が重要なウェイトを占めます。専攻科では「英語で専門分野の授業を聴く」と称して海外で活躍する研究者や日本に滞在する海外からの研究者の方々にオンラインを利用して英語で講演をして頂いております。海外または職場からの講演ですが、我々は目の前で聴講しているかの雰囲気を感じつつ幅広い分野の最前線の話者を英語で聴き質問をすることができます。専攻科修了生の方で海外に留学して、あるいは、赴任して活躍されている方が増えてきておりますので、近い将来、皆さんがそうした状況に出会うことが多くなると思います。

皆さんが本校で得た知識・経験・友人関係を財産として、未来に向けて世界中で活躍されることを祈っています。皆さんの活躍が聞こえてくることを、また、皆さんと再会できる日を楽しみにしています。

修了生進路一覧

※( )内は人数

進学

- 北海道大学大学院 情報科学院 情報エレクトロニクスコース
- 東北大学大学院 工学研究科 ファインメカニクス専攻
- 東北大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻 (2)
- 東北大学大学院 工学研究科 土木工学専攻
- 東北大学大学院 農学研究科 生物産業創成科学専攻 天然物生物機能科学講座 機能分子解析学分野
- 筑波大学大学院 情報科学研究科 情報基礎科学専攻
- 東北大学大学院 情報科学研究科 応用情報科学専攻
- 東北大学大学院 環境科学研究科 先端環境創成学専攻
- 東北大学大学院 医工学研究科 医工学専攻 生体情報システム学
- 筑波大学大学院 理工情報生命学術院 数理物質科学研究科 応用理工学学位プログラム (2)
- 筑波大学大学院 理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 情報理工学学位プログラム (3)
- 筑波大学大学院 理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 知能機能システム学位プログラム (2)
- 群馬大学大学院 理工学府 理工学専攻 電子情報・数理教育プログラム
- 東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 相関基礎科学系
- 東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻
- 東京工業大学大学院 物質理工学院 材料系
- 東京工業大学大学院 生命理工学院 生命理工学系
- 長岡技術科学大学大学院 工学研究科 物質材料工学専攻
- 京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻

就職

- 株式会社明電舎
- 株式会社LIXIL
- 日本貨物鉄道株式会社関東支社
- カーリットホールディングス株式会社
- 株式会社EduLab
- 第一三共バイオテック株式会社
- 株式会社エスアイエレクトロニクス
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- 株式会社メンバーズ
- 日東電工株式会社
- FDK株式会社
- 旭化成株式会社



学生氏名	卒業研究題目	担当教員
阿久澤 俊 輔	こんにやく芋の乾燥における裁断形状の研究	櫻 井
石 川 凜	粉塵爆発における乱れ強さと爆発強度	花 井
石 崎 裕 也	こんにやく芋粉体化装置の乾燥機製作	櫻 井
泉 芽衣	人型双腕ロボットを用いたねじのピンビッキングシステムの開発	小 川
井 野 虹 輝	中ぐり加工用スリーブへのねじ結合方式制振合金適用による寸法精度評価	櫻 井
江 尻 勝 海	セミドライ加工によるボールエンドミル傾斜加工の研究	櫻 井
大 竹 七 葉	精密ステージにおける分解能とストロークの両立に関する研究	樋 口
大 畑 リヒト	4足歩行ロボットの冗長自由度化の試作研究	重 松
大 屋 悟 士	非線形性を有する圧力変動に対するバルブの開度制御に関する研究	平 間
小 野 ひより	非整数階微積分を用いた制御技術に関する研究	平 間
齊 藤 創	極軌道における磁気トルカを用いた超小型衛星の姿勢制御に関する研究	平 社
齊 藤 有 稀	省エネで高性能な温湿度測定用子機の試作	檜 本
佐 藤 隼	温室ハウス内の温度予測モデルの開発	檜 本
篠 原 武 流	SS 過疎地におけるカセットボンベを燃料とする原付二輪の運用に関する研究	花 井
清 水 陽 介	スノーボードの板形状による変形特性	樋 口
菅 原 直 弥	レベラフィータを用いたコイル材矯正における開口量の影響	黒瀬・高山
鈴 木 秀 弥	ISO20032 に基づく Sn-Bi <sub>2</sub> 元系合金の m 値測定	山 内
瀬 谷 芽 斗	CuCl <sub>2</sub> 含有溶融塩腐食に及ぼす腐食時間の影響	山 内
高須賀 颯 太	広角カメラを用いた超小型衛星の姿勢角検出システムに関する研究	平 社
高 橋 秀	走行ロボットに関する基礎研究	重 松
武 政 昇 弥	旋削加工に向けたインプロセス計測手法の開発	樋 口
野 口 恭 兵	Gurney Flap を取り付けた翼の揚抗比に関する基礎的検討	矢 口
早 川 朋 来	鋳造アルミニウム合金の表面分析	山 内
藤 生 羅衣夢	Sn-Bi <sub>2</sub> 元系合金の超塑性挙動に及ぼす Bi 濃度の影響	山 内
本 澤 絢 斗	DBD プラズマアクチュエータを用いた翼のはく離抑制に関する基礎的検討	矢 口
本 多 歩	Sn-Bi-Sb 合金の超塑性に及ぼす Sn 結晶粒の影響	山 内
宮 原 瑠樹也	音声認識精度向上のための ANC による環境雑音の低減	小 川
村 上 森 音	DBD プラズマアクチュエータを用いた球体の抗力低減実験	矢 口
森 内 悠 登	精密ステージの高分解能化に関する研究	樋 口
八 木 晃 成	温湿度遠隔測定のためのデータ収集用親機の開発	檜 本
山 村 樹 生	レーザ干渉計の高精度化に向けた狭帯域レーザ光源の試作	樋 口
湯 浅 耕 作	シリーズ式ハイブリッドの二輪車への転用の検討	花 井
吉 成 大 河	風レンズに取り付けた縦つば及び乱流促進突起による風速増幅効果	矢 口
玉 井 志 穂	水温および逆洗方法に対する逆洗効果の評価に関する研究	平 間
阿 部 晃 大	位置制御と力制御を最適化したバイラテラル制御に関する研究	平 社
上 原 駿 人	3次元歯面修整を施したはずば歯車の振動特性	小 川
生 方 友	PID シミュレータを用いた非専門ユーザのための学習教材開発に関する研究	平 間
小 峰 直 人	二次空気を抑制したピザ窯の熱効率改善に関する研究	花 井
野 島 瑠 空	小型二輪車における安価で簡易的な過給機によるエンジン性能の変化	花 井
萩 原 颯	デルタ翼の揚抗比制御に向けた DBD プラズマアクチュエータの応用	矢 口
藤 井 創 也	砂ろ過機の前次垂注入における残塩濃度制御システムに関する研究	平 間

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
浅 見 遥 斗	フェルマーの最終定理 証明までの道筋	谷 口
石 野 龍之介	(1+1) 次元シュウインガー模型と量子断熱計算	大 嶋
大 沢 倫太郎	二硫化モリブデンのエネルギーギャップに関する研究	塚 原
金 澤 巧 祈	* 積を用いたワイル代数の構成について	谷 口
金 子 大 洋	可視光受信回路におけるオートゲイン調節機構の開発	佐々木
後 藤 隆 貴	特殊な形状を持つ試料による電極付近の電流分布	平 井
齋 藤 瑚汰朗	読者支援機能付き読書管理システムの開発	布施川
杉 山 晴	高速位相可変高周波発振機の製作	五十嵐
須 藤 竜 生	コンクリートレーダにおけるデータ表示と合成開口アプリケーションの開発	富 澤
田 口 貴 教	RTK を用いた cm 精度の測位システムの開発	佐々木
田 所 樹 希	プラズマ発生に用いる 1kV 級直流電源の製作	市村(和)
永 堀 彪 雅	追尾式太陽光発電装置のための太陽位置の計算	中 山
新 延 空 也	アウトラインプロセッサの開発	布施川
野 口 耕 佑	コンクリートレーダにおけるデータと位置情報取得インターフェースの開発	富 澤
野 口 俊太郎	追尾式太陽光発電装置の製作	中 山
萩 原 大 智	コスタス・ループを用いた BPSK 復調回路の開発	佐々木
橋 本 玲 華	追尾式太陽光発電装置のための太陽位置の計算	中 山
馬 場 悠 希	プラズマ診断のための磁気計測装置の製作	市村(和)
藤 井 愛 朗	FPGA による高速ハードウェア制御に向けた検討	五十嵐
古 戸 颯 真	Pd クラスタの磁気的性質に関する研究	塚 原
干 川 未 来	機械学習に基づく回路図からのネットリスト生成に関する研究	松 本
堀 口 光 星	特殊な形状を持つ試料による電極付近の電流分布	平 井
堀 越 遥	線形帰還シフトレジスタを用いたテストパターン生成に関する研究	松 本
松 浦 叶 夢	金属の電気伝導とバンド構造に関する研究	塚 原
簾 谷 京 平	PLL 発振器による NMR 信号の観測	五十嵐
三 俣 喜 成	強磁場下2次元電子系での電流分布の計算	平 井
茂 木 優 太	電力の安定供給に向けた室内型フライホイールの製作	市村(和)
山 口 喬 正	微細加工を要する電子回路自家製造	五十嵐
山 野 壮 太	プラズマ診断のための磁気計測装置の製作	市村(和)
内 山 修 人	一様等方宇宙のダイナミクス	渡邊(悠)
鈴 木 泰 佑	体調記録システムの開発	布施川
森 勇 樹	追尾式太陽光発電装置の製作	中 山
渡 部 翔	(1+1) 次元シュウインガー模型の離散化	大 嶋

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
石 関 隼 人	RTK-GNSSを用いる移動ロボットの位置姿勢計測の評価	市村(智)
石 橋 佳 歩	Nintendo Switchによる1点式体表点字システムの開発	大 墳
内 山 翔 太	1点式体表点字における個人に適した振動呈示方法の検討	大 墳
生 方 丈 士	電圧モード制御方式における降圧形DC/DCコンバータのモデリングに関する研究	築 地
蝦 名 秀 駿	ギタータブ譜作成ソフトの開発	大豆生田
大久保 颯太郎	からっ風吹走日数の推移予測	雑 賀
大 澤 美 紀	確率的テストバリエーション検証プログラムの作成	大豆生田
大 山 武 尊	からっ風吹走日数の推移予測	雑 賀
岡 田 智 志	リモコンのスマートリモコン化	雑 賀
岡 野 泰一郎	大腸検査ロボットの試作	市 村
岡 村 侑 輝	大腸検査ロボットの試作	市 村
小 澤 晶	デジタル制御における降圧形DC/DCコンバータの位相補償法に関する研究	築 地
亀 山 哲 広	圏論と情報工学への応用	北 田
木 暮 まりな	大規模デジタル回路プロトタイピング・システムの開発～マルチ・レイヤ／マルチFPGA／マルチ・メモリ対応～	木村(真)
神 保 宗 汰	色弱者の見え方に合わせた色の境界線の強調表示	渡邊(俊)
鈴 木 勇 人	機械学習を用いたタンヤオの鳴き判断	崔
戸 塚 梅 也	機械学習を用いた6目並べAIプレイヤーの作成と対人戦法開発	荒 川
中 島 弘 翔	音声と映像に含まれる発話同期特徴	川 本
中 村 貫 道	SDRにおける直交復調信号処理に関する実験的検討	築 地
西 山 辰 弥	2Dモデルにおけるリップシンクの設計	川 本
橋 本 大 凱	骨格座標を用いた「歩きスマホ」等の危険行為の検出	渡邊(俊)
林 美 滯	集中度検知によるオンライン授業支援	渡邊(俊)
森 川 結 菜	大規模デジタル回路プロトタイピング・システムの開発～マルチ・レイヤ／マルチFPGA／マルチ・メモリ対応～	木村(真)
矢 野 堅 斗	音声加工した発話映像における個人性知覚	川 本
割 田 羽	セルオートマトンを用いた教育用半導体シミュレータの作成	大豆生田
田 子 誠 将	ガロアの基本定理と作図問題	北 田
原 翔 澄 真	パーティの成長に合わせてステータスを調整するRPGバトルシステムの提案	荒 川
ポヤンバト ビレグト	Mobile game development using AR	崔

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
飯 島 諒		出 口
石 坂 蒼 介		藤 重
石 渡 慎之介		辻
出 田 垂 柳 乃		齋 藤
伊与久 鈴 音		工藤(ま)
岩 淵 真 也		宮 越
内 田 玲 緒		大和田
江 部 拳 翔		藤 重
大 嶋 慧		友 坂
大 嶋 詩 響		大和田
柿 沼 勇 輝		友 坂
金 井 海 都		出 口
北 向 里 名		ルカノフ
黒 崎 竜 平		出 口
古田島 勝		太田(道)
近 藤 陸 斗		大和田
櫻 井 祐 太		大 岡
佐々木 真 道		工藤(翔)
柴 川 和 之		齋 藤
白 崎 圭 祐	※本ページの卒業研究題目につきましては、知的財産 の観点から非公開とさせていただきます。	太田(道)
關 優 斗		中 島
関 矢 大 幸		出 口
染 谷 拓 真		平
高 橋 慧 起		太田(道)
高 橋 遼 成		中 島
龍 見 政 哉		平
永 島 政 典		友 坂
主 代 廉 心		大和田
船 木 美 波		工藤(ま)
堀 口 奈 乃 果		平
松 本 萌 花		中 島
松 本 怜		太田(道)
柳 政 斗		齋 藤
山 口 芳 生		藤 重
大 山 涼 太 郎		平
大 内 步 美		工藤(ま)
斉 藤 輝		工藤(翔)
千 明 仙		工藤(翔)
吉 田 敦 輝		大 岡
砂 野 涉		藤 重
ト ゴ 一		ルカノフ

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
赤井 碧 宇	土質実験における誤差の考察	森 田
浅見 健 斗	2層式 RC ラーメン高架橋の中層梁の地震損傷が耐震性能に与える影響	井 上
新井 唯 翔	コンクリート、モルタル、セメントペーストと異形棒鋼との付着破壊特性について	田 中
新井 結 稀	電気化学的方法による効率的な有機物除去法	谷 村
市川 智 也	ドローンを用いた学校見学会用教材の開発	先 村
岩崎 真 央	土質実験における誤差の考察	森 田
岩 下 洵	線膨張係数が異なる無機系材料とコンクリートに繰り返し温度負荷を与えた場合の付着界面の累積損傷	田 中
内山 康太郎	地震と降雨を受けた際の斜面崩壊にともなう隣接村の道路閉塞の評価	井 上
大川原 大 智	安価な小型 IoT センサの開発と防災への活用に向けた実証実験	井 上
大塚 叶 登	IoT センサを活用した河川災害に対する減災情報システムの提案	井 上
大山 拓 也	シリカを添加した人工下水による硫酸塩還元微生物への影響	宮 里
岡田 大 樹	小規模浄化槽における電解消毒の適用評価	堀 尾
金子 恭 也	超過洪水時における下久保ダムでの洪水調節機能の評価と最適運用に向けた提案	永 野
狩野 那 弥	コンクリート、モルタル、セメントペーストと異形棒鋼との付着破壊特性について	田 中
唐沢 和 輝	バサルト Bio-nest による処理水質の安定化と窒素除去効果の検討	堀 尾
小松 由 依	ドローンおよび新規野生動物研究法による水辺の環境調査の試み	宮 越
齋藤 翼	川場村鳥獣駆除システムの開発	先 村
齋藤 輝	水質および水生生物に着目した粕川における河川環境調査	宮 里
重田 み ゆ	学校内における衛生管理の現状と対策	堀 尾
柴崎 幸 輝	IoT センサの屋外用ケースの設計および構造物の維持管理への活用に向けた検討	井 上
清水 佑	N/P 比に着目した <i>Microcystis</i> の増殖についての検討	堀 尾
須田 昂 季	切削オーバーレイ施工前の現況舗装面計測	先 村
須永 圭	VR 実験による交通条件に応じた電動キックボード利用者の不安感評価	鈴 木
橋 翔 太	前橋市シェアサイクルにおける貸出需要に及ぼす影響要因のモデル分析	鈴 木
辻本 優 太	川場村鳥獣駆除システムの開発	先 村
土屋 奏 人	簡易式せん断試験によるせん断抵抗力の評価	田 中
西田 拓 海	グリーンラスト懸濁液を用いた窒素・リン除去効果の検討	堀 尾
長谷川 柊	もみ殻を用いた連作障害抑制に向けた土壌改良資材の製作	青井・宮里
林 悠 太	群馬県内の河川におけるマイクロプラスチック汚染の把握と比較	宮 里
東山 姫 夏	電気化学的方法による効率的な有機物除去法	谷 村
降 籟 竜之介	ドライバーの横断歩行者譲り判断に及ぼす要因分析	鈴 木
松浦 智 亮	正観寺沼へ流入する水路の土砂輸送能力の評価に関する研究	永 野
茂木 陽 平	異なる型式の砂防堰堤に捕捉される溶岩流の挙動と堆積特性に関する実験的研究	永 野
吉井 響	高崎市吉井町地先における水害の特性とその検証について	永 野
渡邊 圭一朗	簡易式せん断試験によるせん断抵抗力の評価	田 中
下田 泰 也	GNSS とエクセルマクロによる縦断図作成	先 村

学生氏名	課 題 名	サブタイトル	正担当	副担当
高木 美 咲	エネルギーハーベスティングに関する研究	環境発電素子に適した電源回路構成に関する検討	佐々木	築 地
秋間 祥 伍	高信頼性を有する回路・システムの構築に関する研究	非同期回路設計・評価の実機動作環境の構築	松 本	佐々木
荒井 智 貴	情報技術とヒューマンインターフェースを活用した研究	2Dアバタを対象とした単眼カメラ画像によるアクタの口形推定	崔	市 村
入澤 宏太朗	多自由度を有するリンク機構の制御に関する研究	冗長関節系を有する多脚型ロボットの最適姿勢制御に関する実験的研究	平 社	平 間
岩井 藍	計算機を用いた量子力学系のシミュレーション	計算機シミュレーションによるグラフェンの電子物性の研究	高 橋	宇治野
大河原 礼 王	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	高速可視光通信のための D/A、A/D 変換回路の実装	佐々木	五十嵐
小野塚 隆 太	マルチスケール熱流動科学	液体および固体状態の鉄内部における炭素拡散の分子動力学的検討	矢 口	櫻 井
梶原 豪	核磁気共鳴の原理をもちいた計測工学の応用	位相循環機能を付加した不要高調波抑圧式発振器の開発	五十嵐	佐々木
加藤 進 吾	情報技術とヒューマンインターフェースを活用した研究	仮想テクスチャと実物体のマクロ粗さの差異に対する許容範囲の測定	崔	川 本
菊池 啓 亮	宇宙機の姿勢制御と軌道解析に関する研究	超小型衛星におけるコイルを横配置させたデュアルリアクションホイールを用いた姿勢制御系の研究	平 社	黒 瀬
小林 夏 美	ヒトが扱うメディア情報の認識・統合・合成に関する研究	日本語母音の差分特徴を用いた音声加工技術	川 本	崔
齋藤 環 希	核磁気共鳴の原理をもちいた計測工学の応用	高調波フィルタ回路基板自家製造過程の包括的検討	五十嵐	佐々木
清水 翔 也	産業応用上の制約を考慮した制御技術に関する研究	複眼広角カメラを用いた車輪型移動ロボットの環境認識に関する実験的研究	平 社	平 間
菅原 達 弥	自律型移動ロボットの最適誘導方式に関する研究	車輪型移動ロボットの傾斜環境を考慮した最適経路設計	平 社	櫻 井
住谷 駿	情報技術とヒューマンインターフェースを活用した研究	リミテッドアニメーションに適したモーショントレーサの生成	崔	川 本
高橋 響 熙	移動ロボットに関する研究	2次元測域センサと BoVW を用いる移動ロボットの自己位置推定と地図生成	市 村	荒 川
田島 俊 也	量子計算・量子暗号に関する研究	QKD の無条件安全性に関する検討	宇治野	大 嶋
田島 雅 斗	人工知能による応用システムの研究	遺伝アルゴリズムを用いたソロギター向け自動編曲・運指決定システムの提案	荒 川	川 本
西村 達 哉	人工知能による応用システムの研究	異なる神話間における神格同士の対応付けシステムの開発	荒 川	市 村
原澤 瑞 樹	高信頼性を有する回路・システムの構築に関する研究	RISC-V 命令セットに基づく非同期マイクロコントローラ的设计	松 本	佐々木
前澤 一 舜	量子計算・量子暗号に関する研究	シオアのアルゴリズムによる素因数分解の、誤り訂正も考慮した計算量評価	宇治野	高 橋
町田 翔	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	レーザ可視光通信における自動光軸調整システムの開発	佐々木	松 本
三木 雄 太	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	深度カメラを用いた屋内マッピングシステムの開発	佐々木	大 嶋
宮内 礼 那	計算機を用いた量子力学系のシミュレーション	数値計算に基づく超伝導素子の研究	高 橋	塚 原
武藤 大 和	マルチスケール熱流動科学	風レンズを用いた垂直軸型風車の性能向上に向けた実験的研究	矢 口	平 社
青木 帆乃花	植物における形態形成やストレス応答に関する研究	微細藻類の脂質代謝関連遺伝子を用いた検討	大 岡	大和田
安藤 凱	植物や微生物が生産する生理活性物質に関する研究	植物病原菌が生産する植物毒素の分離	大 岡	友 坂
池本 敦 哉	火山防災へ向けた溶岩流災害情報の基盤構築と流動特性評価手法の開発	横断構造で捕捉される溶岩流の挙動に関する研究～最適な施設配置検討に向けて～	先 村	永 野
小淵 晴 仁	微生物の触媒機能を利用した生物資源や合成化合物からの有用物質生産に関する研究	ポリフェノール類の微生物変換とそのメカニズムの検討	宮 越	大和田
角田 真 一	分子分光学を用いた化学反応機構の研究	高感度レーザー吸収分光装置の開発	辻	平
上遠野 佑 紀	生理活性が期待される有機化合物に関する研究	芳香族層状せん分子の不斉誘導に関する研究	大 岡	工藤(ま)
木村 一 輝	有機物を主体とした結晶粒子群の製造と評価に関する研究	溶液晶析による結晶粒子群製造と粒子群の分離・洗浄に関する検討	出 口	工藤(翔)
公家 玲 亜	高容量のエネルギー貯蔵用材料に関する研究	多孔質炭素小球体を用いた高容量リチウムイオン二次電池用電極の作製	太田(道)	出 口
小林 波留加	界面制御による機能性固体材料の合成とその活性評価	多孔性有機シリカ上に固定化したアミノ酸を利用した固体触媒材料の開発	太田(道)	齋 藤
小屋 夏 南	流量変動が河川環境に及ぼす影響の検討と評価手法の開発	支川合流を考慮した河川の流況評価モデルの開発	堀 尾	永 野
小山 寛 貴	生活排水処理施設の処理機能改善のための技術的検討	小規模生活排水処理施設への紫外線消毒法の適用検討	堀 尾	宮 里
齋藤 湊 太	地盤の地震応答特性に関する研究	岩盤斜面に対する模擬地震動入力時における最小すべり安全率の決定時刻抽出の試み	森 田	井 上
笹川 耕作	植物における形態形成やストレス応答に関する研究	MIT4 プロモーターを有する発現ベクターの作製と発現システムの検討	大 岡	大和田
篠原 愛	高容量のエネルギー貯蔵用材料に関する研究	多孔質炭素複合体のエネルギー貯蔵材料への検討	太田(道)	工藤(翔)
堀 蓮	地盤の地震応答特性に関する研究	2018 年インドネシア・スラウェシ島地震における地盤地震応答解析と簡易液状化評価	森 田	井 上
清水 魁 士	繊維状吸着材の水質浄化作用の効率化と微生物学的機能解明		大和田	平
福嶋 望 夏	機能性酸化物セラミックスの合成とその形態制御に関する研究	溶液法による光触媒セラミックスの合成と結晶構造解析	平	齋 藤

# 退任挨拶

## 39年間の感謝

一般教科(人文科学) 嘱託教授 飯野 一彦

長く慣れ親しんだ群馬高専をいよいよ離れる時が来ました。26歳で着任した浅学非才の私が英語教師として39年間も勤めてこられたのも、ひとえに諸先輩の指導や同僚の助力があつてこそだと今、改めて思っています。

これまでを振り返ると、二度の英国での研究生活、指導した剣道部男子の関東5連覇・女子の全国準優勝、学生主事として関わった「嵐の中の工華祭」など、印象深い思い出が沢山あります。しかし今、一番に目に浮かぶのは、技術者を志して真剣に学ぶ学生たち一人ひとりの姿です。最後まで拙い授業につきあってくれた学生には本当に感謝の一言です。

私の教員生活はこれで終わりますが、これからは群馬高専で得た知識や経験をもとに、広く地域社会に貢献する活動をしてゆきたいと思っています。

39年間、本当にありがとうございました。



## 大変お世話になりました

物質工学科 嘱託教授 藤重 昌生

中学3年時の高校紹介で担当したのが群馬高専でした。入学した1Kは荒れたクラスでしたが友人ができてしまい「卒業するか」に変わりました。3年時には大学受験のために大量退学、4年時は24名でした。壊れてばかりで測定よりも修理の時間が多かった質量分析装置で楽しい卒業研究の時間を過ごし、初めて「良かったかも」と思いました。後の勤務先でメーカー1号機の高温質量分析装置が正常に作動しないまま納入になり、当日、これを分解、正常作動させました。装置の概要が理解でき、順番に解体して、順番に組み立てる。基本ができれば初めて触る装置もいうことを聞いてくれます。学生に「入学して良かった」と思わせることはできなかったかもしれませんが、アイデアを出し合っただけだった皆さんに、この場を借りて感謝申し上げます。



## 歯車、メカトロ、ときどきテニス

機械工学科 嘱託教授 小川 侑一

1982年4月に機械工学科助手として着任し、今年3月末で退職いたします。40年間の教員生活を楽しく過ごすことができました。その間、支えていただいた機械工学科をはじめとする教職員の皆様方に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

教員生活を振り返ってみると、いろいろなことが思い出されます。

授業では主にメカトロニクス分野、シーケンス制御教育の充実を目標に取り組みました。研究活動では歯車の低振動化の課題に取り組みました。講演会で訪れたシカゴや西安の街並みが今でも印象的に残っています。地域連携として人材育成講座ではシーケンス制御の入門講座を担当しました。参加していただいた企業の技術者の皆様の真剣な姿勢が印象的でした。課外活動ではテニス部顧問として引率した全国大会において、部員達の頑張りにより3大会連続して団体戦3位入賞の場面に立ち会えたことは大変幸せでした(ありがとう!)。部員達から貰ったアルバムや記念品は一生の宝物です。

退職後は、趣味のテニスを楽しみながら過ごしていきたいと思っています。

ここで、テニスの大坂なおみ選手の言葉を紹介します。「自分と他人を比べない」、「負けたからといって世界の終わりではない」(…なるほど)

最後になりますが、群馬高専の今後ますますのご発展をお祈りし、退職の挨拶といたします。大変お世話になりました。



## 夢を叶えてくれた学生の皆さんに「ありがとう!」

物質工学科 嘱託教授 藤野 正家

私は博士課程を修了後、企業で21年間、材料基礎研究や会社経営などに従事し、平成17年に本校へ来ました。今日まで学科の先生方をはじめ多くの皆様を支えていただき、17年間の教員人生を全うすることができました。お世話になった皆様方に心より御礼申し上げます。

私が教育界へ転身したのは、かの松下幸之助氏の言葉ではありませんが「人をつくる」ことに大きな魅力を感じたからです。教育には無限の可能性が広がります。15歳の少女が20歳の大人に成長していく姿を間近で見ることができるのは望外の喜びでした。思いもかけないような成長を遂げる学生もいました。その学生がその後、社会で活躍している噂を耳にすると、「奇跡」って起こるものだと思ってしまう。お蔭様で私も学生の皆さんと一緒に成長することができました。私の夢を叶えてくれた皆さん、本当にありがとう!



## 20余年をふりかえって

機械工学科 嘱託教授 重松 洋一

「少年老い易く、学成り難し」という言葉は、中学か高校の国語か古文の授業で習った、聞きおぼえのある言葉ではありますが、平成8年、(少年ではなく) 壮年のときに、こちら機械工学科に着任以来、20余年たってしまいました。今思うに、全く本当に「老い易く」でありまして、毎年毎年、教務関連のことはもちろん、いろいろな会議やら行事やらが目白押しにあって、1年があつという間に過ぎ去ってゆき、「学成り難し」のまま、ちょうど令和元年度にとうとう定年を迎え、この3月をもって2年間の短期雇用も任期満了となりました。

2年ほど前から蔓延し始め、つい先日はおさまりかけたように見えた新型コロナウイルスは、まだ予断を許さず、この原稿を書いている1月末時点でオミクロン株の感染が急増し続けていて、対面の授業や卒研発表会や期末試験などが、ままならない状況ではありますが、順風満帆のときもそうでないときも、群馬の空は大体いつも青空であることは、私も含め、みなさまにとって、何かとても大切なことのように思います。

最後に、20余年間の感謝を申し上げますとともに、みなさまのなご一層のご発展をご祈願いたします。



## tenaciousnessな生き方

一般教科(人文科学) 嘱託教授 福田 昇

4年生5クラスの英語の授業をこの1年間教えることができたこと、大変嬉しく思います。振り返ってみると、みなさんと同じ年頃の学生時代、私は美術大学への進学を目指し、木炭デッサンや人物クロッキーなどを熱心に描いていました。それがいつの間にか教師を生業とし、退職を迎えます。不思議なもので、人は何かが終わりがけのときになって初めて自分がしてきたことを改めて深く考えるものです。何かが好きで、それをがむしゃらにやり続けいと見えてくるものがあり、英語ではそのような生き方をすることを tenaciousnessな生き方といいます。群馬高専のみなさんが、将来自分の人生を振り返ったとき、そんな生き方ができたといえるようになることを願っています。



## 人生下り坂最高!

電子情報工学科 嘱託教授 木村 真也

紙面の都合により、次のサイトに掲載します。

URL: <http://www9.gunma-ct.ac.jp/staff/kimsyn/Greetings.pdf>

パスワード: Retirement

閲覧期限: 2022年3月31日ころまで



## 今までありがとうございました

物質工学科 教授 平 靖之

19年間お世話になった群馬高専を退職し、4月から大東文化大学で勤務することとなりました。私は2003年の4月に本校に着任し、始めは一般教科(自然)の所属で、主に低学年の物理・化学の実験を担当しました。2007年の11月には物質工学科に移動になり、無機化学・材料化学の専門科目を担当しました。研究室に配属になった学生と協力して、セラミックスに関する研究を行ってきました。学生さんには研究成果を学会で発表してもらい、何度か賞を頂くこともありました。頑張ったのは学生さん本人であり、研究を進めて頂き御礼申し上げます。また、ご指導・ご協力頂きました教職員の皆様には大変お世話になりました。感謝申し上げます。ありがとうございました。群馬高専の更なる発展を祈念いたします。



# 退任挨拶

## 良い心の中に道がある

電子情報工学科 准教授 崔 雄



1. 現在の状態は過去に行ったことにより現れます。未来のことは現在何をやっているかで決まります。未来を変えたいなら、今日を変えなければならないです。2. 自分がやるのが良いことなのか考えなさい。善いことをする人が最後には勝利します。3. 日光が365日照らすところは砂漠になってしまいます。適度な雨と台風が青い森を作ります。人生においても適度な失敗と困難が人生を豊かにします。4. 失敗したときより成功したとき、さらに注意しなければならないです。自慢は失敗の母です。5. 善い目標を持っていることなら、絶対諦めないでください。6. 両親を敬いなさい。7. 最善を尽くしても思い通りにならないときが多いです。しかし、最善を尽くす過程の中で新しい道が開かれます。8. 自分よりも実力があり、良い人に会いなさい。YouTubeにあるスティーブ・ジョブズのスタンフォード大学の卒業演説をお勧めします。ほとんどすべてにおいて重要な人生の経験と哲学があります。9. 自分自身を大切にいなさい。この世で自分自身はたった一人だけの大切な存在です。

## 時の流れは早いもので…

事務部長 長塚 正明



高専(KOSEN)は、1961年、5年制の高等教育機関として制度化され、翌年、本校をはじめ最初の国立工業高専12校が設置されました。

時の流れは早いもので、今年で高専が還暦を迎えようとする中、私は3月末をもって定年退職となります。振り返れば、私にも語り尽くせぬ壮大なドラマがあった(?)はずですが、今となっては、還暦の二文字の波に洗い流されてしまいました。ひょっとすると、振り返るには未だ早いということなのでしょうか。

本校での在職は1年というほんの短い期間ではありましたが、大変お世話になりました。心より御礼を申し上げます。最後に、群馬高専の益々の発展を祈念いたします。

## 退職にあたって

総務課長 尾内 仁志



本年3月末をもって定年退職を迎えることとなりました。本校には平成31年4月に着任いたしました。令和2年に入ると国内で新型コロナウイルスの感染が始まり、4月には本校でも入学式中止という事態に陥りました。その後も対面授業ができず、慣れない遠隔授業がスタートいたしました。このような事態から、通常業務に加え、学生の学修機会の確保を図るため、微力ながら感染の拡大防止に向けた取組みに努めてまいりました。現在も感染は収束しておりませんが、一日も早く以前の生活スタイルを取り戻せる日が来ると共に群馬高専の今後益々の発展を祈念いたしております。3年間、皆様方には大変お世話になり、ありがとうございました。

## スターリングエンジンよ さらば

教育研究支援センター 技術職員 齋藤 喜泰



高専での勤務で私の一番の思い出は、実習工場で学生たちと物作りをしたことです。機械工学科の工作実習では、教材の開発にも携わりました。3年生で行っているスターリングエンジンの製作は、物作りの楽しさを実感できるテーマとして私が開発しました。部品の加工だけに留まらず組立てからエンジンの始動まで行う実習です。

学生たちは部品の加工に苦戦しましたが、懸命に製作に励んでいました。そしてエンジンが始動したとき、学生たちは安堵感と達成感に満ち溢れた笑顔を見せてくれました。私にとっても一番うれしい瞬間でした。私の一生の宝物です。

学生たちとの物作りは楽しく、群馬高専で働けて本当に良かったと思っています。

最後に、教職員の皆様、学生の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

44年間お世話になりました。

スターリングエンジンと



2021

# 全国高等専門学校体育大会 出場報告

## バスケットボール部

### 創部以来の全国大会初出場

3C 北村 希美

私たちバスケットボール部は11月20日に宮城県のホテルで開催された全国大会に出場してきました。本来であれば9月4、5日に行うはずだったのですが、新型コロナウイルスの影響もあり11月に延期され、無事全国大会に参加することができました。メンバーは選手9人、先生1人、コーチ2人の12人で大会に臨みました。バスケットボール部女子は関東甲信越地区で初めて優勝したため全国大会は初出場となりました。

私たちの初戦は明石高専でした。この高専は全国大会出場常連校であり、また相手チームに高身長選手がいたので試合前はとても緊張しました。試合は13時から行われました。前半までは接戦でしたが後半で離されてしまい、結果は一回戦敗退となりました。

この悔しさを忘れず練習に励みたいと思います。そして次の全国大会も出場し、良い結果を残すためにこれからも頑張ります。



## バレーボール部

### 念願の全国大会出場

2年1組(C) 小林 美遥

私たち女子バレーボール部は創部以来初めて全国大会に出場することができました。新型コロナウイルスの影響により何度も大会が延期になってしまいましたが、先生方が練習試合をたくさん組んでくださったり、男子バレーボール部のみなさんが練習を手伝ってくれたりしたおかげで大会に向けて練習をたくさん積み重ねることができました。また、4、5年生の先輩方は編入試験や就職活動、卒業研究などで忙しいにもかかわらずたくさん練習に参加してチームを支えてくれました。

そしてついに迎えた大会本番、私たちは一回戦で負けてしまいましたが、今までの練習の成果が十分に発揮できたと思います。そして何より今まで一番楽しい試合でした。

今回の貴重な体験を通して学んだことを次の高専大会に生かせるようチーム一丸となって頑張っていきたいと思います。



## サッカー部

### 思いの詰まった全国大会

3J 山本 空澄

群馬高専は昨年、16年ぶりに全国大会に出場した。関東大会で勝ち上がり全国大会に出場できたのは嬉しかった。1回戦の仙台名取戦、2対1で勝利した。全国大会での1勝は大きな自信になった。2回戦の神戸市立戦、相手に発熱者が出てしまった為、不戦勝となった。このご時世ゆえの不戦勝は複雑な感情を抱いたが、コーチを中心に次の試合に気持ちを切り替えられた。準決勝の鹿児島戦、0対4で敗北。相手のサッカーを前に自分たちのサッカーが出来なく、悔しかった。結果は3位。群馬高専初の3位という結果を残すことができ、やってきたことが結果につながって嬉しかった。今回の大会を経て得られたことを今後の練習や試合に生かして次も全国大会に出場し、リベンジをしたい。最後にこの大会に関わってくくださった皆様に感謝申し上げます。





2021

## 全国高等専門学校体育大会 出場報告



## 水泳部

## 初めての全国大会

私は、12月18・19日に秋田県立総合プールで開催された全国大会に参加してきました。出場種目は、女子200m個人メドレー、女子100m自由形でした。結果は個人メドレーでは優勝、自由形では準優勝でした。今年も新型コロナウイルスの影響で、地区大会や記録会などが中止となり、全国大会も行われるのかどうかわかりませんでした。2度も全国大会が延期となりモチベーションを保つのは大変でしたが、無事に開催され出場することができて嬉しく思いました。また、このような状況の中で大会を開催してくれた関係者の方々、引率・応援してくれた先輩たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

今大会での弱点を克服し、0.1秒でもタイムを縮められるように練習をして、来年は2種目で優勝できるように頑張りたいと思います。

1年1組 (C) 櫻井 花梨



## 剣道部

## 全国大会出場での「学び」

まずはこのような社会情勢の中、全国大会を開催いただけたこと、その全国大会に派遣していただけたこと、大会参加に向けて多くの協力を惜みず与えてくれた家族に私たちは感謝いたします。今回の大会は男子個人戦2名、女子団体戦への参加でしたが、すべて1回戦で負けてしまいました。私たち2年生ははじめての高専大会だったのでわからないことだらけの中、先輩や後輩、同級生と協力しながら行動を計画したり、勝ち負け以外にもチームワークが強まるなど学校生活では体験できないことばかりであり、とても貴重な学びができる場面が多くよかったです。とくにウォーミングアップの時間などを考え、移動時間などを決めて行動することの大切さを今回の大会を通じて学びました。今回の大会遠征で学んだことを今後の学校生活や普段の生活で生かしていきたいと思いました。

2年4組 (C) 青木 佳南



## 令和3年度 全国高等専門学校体育大会結果一覧

種目	開催校	開催期日	結果	
バスケットボール	仙台 (広瀬)	11月20日 11月21日	女子	1回戦敗退 群馬 47-65 明石
			女子	1回戦敗退
バレーボール	鶴岡	12月11日 12月12日	女子	1回戦敗退 群馬 17-25 佐世保 群馬 22-25 佐世保
			男子	3位 1回戦 群馬 2-1 仙台名取 2回戦 不戦勝 準決勝 群馬 0-4 鹿児島
水泳	鶴岡	12月18日 12月19日	女子200m個人メドレー	優勝 櫻井 花梨 2分34秒50
			女子100m自由形	2位 櫻井 花梨 1分04秒06
剣道	仙台 (名取)	12月18日 12月19日	男子個人	1回戦敗退 柿田 航太郎
			男子個人	1回戦敗退 狩野 丞
			女子団体	予選リーグ敗退 群馬 1-2 旭川 群馬 2-1 八戸

※テニス、陸上競技、ソフトテニス結果については、学校だより第124号に掲載

## 学生会新役員紹介

## 思い出に残るような行事を

皆様はじめまして。来年度学生会会長を務めさせていただきます。現2Mの富田悟史と申します。副会長は現1K中村悠世、現1E有賀幹人が務めます。

学生会とは活動や行事が行われる際に、皆様を繋ぐ架け橋となる組織です。また、学生会の存在もこれまでの橋渡しによって引き継がれてきました。今の学生会があるのは先輩方や学生会を支えてくれた先生方や職員の方のおかげです。この場を借りて心より感謝申し上げます。

さて、その中心となる会長という立場になり、これから自分が主体となり活動していくことに対して責任を感じると同時に胸を膨らませています。学生会の皆で伝統ある行事を成功させるべく精一杯頑張ります。

新型コロナウイルスの流行により、行事がどのくらいどのよう

2年2組 (M) 富田 悟史

な規模で開催できるかまだ見当もつきませんが、皆様の思い出に残る行事となるよう、一所懸命に活動して参りますのでどうか応援よろしくお願いします。

アイデア対決・全国高等専門学校  
ロボットコンテスト2021

## 憧れの国技館

ロボット研究会 2年2組 (M) 今泉 俊亮

本研究会は高専ロボコン2021「超絶技巧」の全国大会に参加しました。今年度の競技は、自分たちがこだわってきた技術、挑戦してみたい新しい技を徹底的に追求し、各々の「すごい技のロボット」を製作するというものです。僕たちのチームは巨大達磨を2台のロボットで立ち上げ、撃ち落とすというパフォーマンスを行いました。

今年は地区大会がオンライン開催になってしまったのですが、全国大会は国技館で行われました。国技館では全国の高専から学生が参加し、様々なパフォーマンスを生で観戦したり直接話を聞くことができました。憧れの舞台上でパフォーマンスをするロボットは心なしか輝いて見えました。

結果は惜しくも賞を取ることはできなかったのですが、チームでロボットとパフォーマンスを作り上げたことは非常に良い経験になったと思います。来年も全国大会に行けるように努めていきたいです。



## 吹奏楽部定期演奏会

## 「with コロナ」での演奏会

2年4組 (C) 田村 泰祐

2021年12月19日、私たち群馬高専吹奏楽部の第59回定期演奏会が行われました。昨年は新型コロナウイルスの影響により学校内での開催となりましたが、今年度は無事に昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）にて開催することができました。思い返してみるとトラブルだらけで反省点が多々ありますが、最終的には顧問で指揮をしてくださった工藤先生から「今まで一番の出来だった」とお褒めの言葉をいただくことができました。

今年は「with コロナ」の言葉通り、感染対策をしっかり行った上で様々な行事が開催され、工華祭など吹奏楽部の出番も増えました。そのため昨年に比べて練習が忙しく大変でしたが、部員皆で協力することができ最高のパフォーマンスをすることができたと思っています。そしてこれからも部員一同精進していきますので応援をよろしくお願いします。

最後に、今年度も様々な形で吹奏楽部にご協力してくださった全ての方に心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



令和3年度 全国高等専門学校将棋大会

いざ奈良へ、いざ将棋!

私たち将棋部は全国の高専生と将棋をするために奈良県に向かった。将棋の大会では団体戦と個人戦があり、私はどちらにも参加した。私は団体戦では長野高専 A チームと対戦し、結果は1-2で負けてしまった。個人戦では初戦から前回優勝者と対戦し、見事に負けてしまった。ちなみに団体戦は長野高専 A チームが優勝した。群馬高専の最高結果は、先輩が個人戦でベスト32に入ったことだった。

今大会に出場できなかった部員の方も気合を込めて指した将

棋は、いつもより白熱した試合であった。コロナ禍の状況下であったがたくさんの高専と将棋を通して交流することができた今大会はとてもよい経験であった。

2年3組 (K) 石川 涼人



一部長でも副部长でもないただの将棋部員より

関東信越地区高等専門学校英語弁論大会

心を動かすスピーチ

私は今回の英語弁論大会で、マララさんが16歳という若さで国連で行ったスピーチを暗唱しました。暗唱の部では自分の言葉ではなく、ほかの人のスピーチの一部を抜き取り発表します。その中で私はスピーチを自分のものにするというのがとても苦手でした。ですが、毎日昼休みや放課後に伊藤先生や様々な方の力を借りながら少しずつ自分にしかできないスピーチに仕上げ

1年3組 (C) 原 華恋

ていくことができました。今回の大会では録画で審査を行う形にはなりましたが、自分が出せる精一杯の力を出すことができました。来年は弁論の部に出場し、マララさんのような人の心を動かせるスピーチをしたいです。

レシテーション部門 1位



全国高等専門学校デザインコンペティション

構造デザイン部門

広島・呉高専でのデザコン!

構造デザイン研究会 4C 木暮 悠暁

12月の初めに呉高専にて全国高等専門学校デザインコンペティションが開催されました。

今回エントリーした橋は、群馬高専の工場に協力をお願いし、レーザーカットしていただいた紙を使用したため、効率よくトライ&エラーを繰り返すことができます。

大会当日の午前にはパワーポイントを用いておこなうプレゼンテーションが行われ、午後には載荷試験が行われました。プレゼンテーションでは全体で2位でした。載荷試験では事前に大会の項目をクリアし、完璧という状態で臨みましたが惜しくも本領発揮できず、残念な結果となりました。後輩のみんなには来年度頑張ってくださいと思います。

最後に、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



AM デザイン部門

学び多きデザコン

3Dデザイン研究会 4M 八木原 蓮

12月4日に高専デザコンin呉が開催されました。去年はオンライン開催でしたが、今年はちょうどコロナが落ち着いている状況だったため、広島県の呉高専で行われました。

今年は「ついでに解決しよう」というテーマで、AMデザイン部門に出場し、僕たちのチームでは自転車のブレーキのエネルギーをバネに蓄え、それを動力電池に蓄え有効活用するというアイデアを提案しました。今年は現地開催だったので他高専の人に工夫した点や発想を聞いたり、他高専の出したものを実際に見たり体験したりすることができて、同じテーマから

色々な課題解決提案の方法があったり、授業で学んだ知識が活かされているものがあったりと、賞は取れなかったものの得たものはすごく大きかったと思います。また、テーマに対して僕は効率ばかり考えていたもの他高専の作品では効率ではなく面白さを追求したものが自分では思いつかないアイデアで参考になりました。今回の経験を活かし身の回りを違う視点で観察し、またこういった大会に参加したいと思います!



生物教育研究連携シンポジウム

15周年記念の生物教育研究連携シンポジウム

地域連携テクノセンター 副センター長 宮里 直樹

令和3年12月7日に「生物系分野を軸に連携した教育・研究の可能性」をテーマとしたシンポジウムが、2年ぶりに開催されました。新型コロナウイルス感染拡大が心配されましたが、本校の学生や一般の方を中心に100名超の方々にご参加を頂きました。

第1部の基調講演では国立科学博物館生物部門長の細矢剛先生(日本菌学会会長)、第2部では吉田由香里先生(群馬大学重粒子医学研究センター・物質工学科卒)、金澤推氏(水ingエンジニアリング株式会社、環境都市工学科卒)より、ご講演が行われました。また、本校教職員の生物に関する研究紹介がポスター形式で開催され、ご参加頂きました方々が熱心に発表者に対してご質問されておりました。

今回、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しての開催でした。ですが、多様性の重要性や、卒業生が活躍する広い分野における生物をキーワードとした活動事例が紹介され、参加者からは多くの質問も出され、大変有意義なシンポジウムとなりました。



ひらめき☆ときめきサイエンス

ミッションクリアを通して結晶の性質と不思議を学ぶ!  
(物質工学科ひらめき☆ときめきサイエンス)

物質工学科 准教授 工藤 翔慈

令和3年10月16日(土)および23日(土)の2日間、物質工学科棟1で物質工学科ひらめき☆ときめきサイエンスが実施されました。広くたくさんの中学校から計73名の中学生(1~3年生)が参加しました。「結晶析出と品質の不思議」と題して、結晶の性質や品質について講義説明を交えながら実験を進める形式で実施されました。受講生徒は、実験台ごとにグループを作って、実際に結晶の観察や析出実験を行ないながら用意された謎解きのミッションをクリアして、物質の種類や結晶内の分子の並び方で結晶形状が異なること、二液の混ぜ方など析出の際の条件によって結晶の形が異なることなど、多くの発見とともに結晶の性質を学びました。

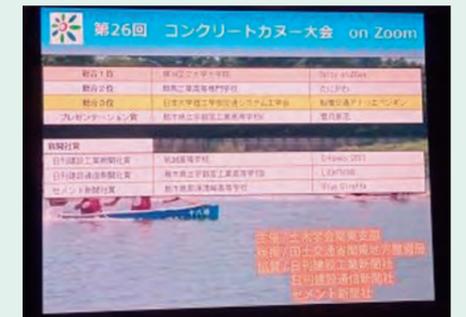


第26回コンクリートカーナー大会 総合2位

経験したことを十分に活かした結果でした

コンクリートカーナー愛好会 3C 伊藤 涼

私たちは、コンクリートカーナー愛好会を5年ぶりに再開し、まずは楽しむことを目的に活動を開始し、カーナーの製作を4月から行ってきました。製作を始めた当初は、完成というゴールがとても遠く、カーナーの設計やコンクリートの配合比が適したものにならず苦労しました。しかし、その度に愛好会のメンバー同士で協力し一つずつ解決しながら、製作を進めました。また、先生や愛好会以外の同級生の協力もあり、何とかカーナー「谷川」を完成することができました。今回、大会はオンライン開催でしたが、カーナーや製作の過程だけではなく、その時々自分たちの心情を入れたプレゼンにすることで、大会では2位という結果を得ることができました。次回こそ、念願のレースに向け、さらに良いカーナーを作りたいです。



スマート・サイエンス・スクール(SSS)

スマートサイエンススクール実施報告

物質工学科 准教授 齋藤 雅和

平成25年からスタートした群馬高専オリジナル研究体験プログラム「スマートサイエンススクール (SSS)」。今年で8回目を迎えました。昨年度に引き続きコロナ禍での実施となり、当初予定していた8月開始が緊急事態宣言により延期となり、最終的には11月中旬から4テーマの実施となりました。1テーマ当たり実施できる回数は例年より少なくなりましたが、参加中学生は1回1回の実験に対してしっかりと考えながら取り組んでおり、12月25日の閉校式では未来の研究者といえる大変素晴らしい研究成果を発表して頂きました。ご支援を頂きました諸先生方および職員の皆様、さらに協賛頂きました公益財団法人日本化学会関東支部様に深く感謝申し上げます。



JSEC協賛社賞受賞及びISEF出場決定(日本代表)・サイエンスキャッスルポスター賞受賞

「地味な研究」が世界への切符

理科部化学班の活動として私は、「水溶液のpH差を利用した水の低電圧電気分解によるエネルギー創成」というテーマで2021年の3月から実験を行ってきました。そして、12月11日・12日に開催された第19回高校生・高専生科学技術チャレンジ(JSEC)の最終審査会で研究成果を発表し、栗田工業賞とISEFという世界大会への切符を頂きました。また、12月19日に行われたサイエンスキャッスル2021関東大会ではポスター優秀賞を頂きました。

私は研究発表を通して、「自分の研究に誇りを持つことの重要性」を実感しました。私が行っていた実験は一言でいえば「水の電気分解で水素ガスを生成する」という、ものすごく地味な実験です。実験を行う中で、なかなか良いデータが取れず悩むこともたくさんありました。しかし、失敗続きでも「今度こそ成功させる!」という強い意志があれば、それは大きなパッションに変わり、審査員の方々の心に響くものとなる。地味な実験も大きな価値のあるものになることを実感しました。このような低学年の高専生活では経験できない「研究発表」という機会や、研究

理科部 3K 岩佐 茜

の進め方、研究倫理、実験が成功した際のあの何物にも代えられない喜びなどといった多くのことを学び、たくさんの貴重な経験ができました。これはひとえに部員の皆さんをはじめ、多くの先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

最後に、理科部顧問の齋藤先生!ルカノフ先生!これからもうろしくお願いします!!



SDGs動画コンテスト優秀賞受賞

コンニャクから始めるSDGs

1AE 舘野 瞬

この度、JBA及びJABEXが主催する「高専生SDGs動画コンテスト2021」(内閣府後援)にて、「コンニャク飛粉からの生分解性プラスチックの生産に向けて」というテーマで最優秀賞に次ぐ優秀賞をいただきました。自分の特別研究で直接取り組んでいるテーマで、コンニャクという比較的ローカルなものを用いていたにも関わらず、全国的に知ってもらえる機会をいただけて嬉しく思います。この研究は、群馬県内の未利用農産資源となるコンニャク芋の一部を微生物の力を用いた環境負荷の小さいプロセスで、土に還る生分解性プラスチックに変換することを目的としています。これによって土→コンニャク芋→プラスチック→土→…のような循環を作ることができれば、持続可能な社会の実現に向けた大きな一歩になるかもしれません。



6th STI-Gigaku 2021 Best Research Presentation Award受賞

英語での発表を経て

1AP 嶋 清花

この度、6th STI-Gigaku 2021にて、Best Research Presentation Awardを頂きました。この会議は、持続可能な開発目標(SDGs)の解決につながる研究・活動を行い、興味・関心を深めるためのものです。私は、目標9の「産業と技術革新の基盤をつくろう」に基づき、『Influence of CuSO<sub>4</sub> addition on the high-temperature corrosion of Ni based alloy.』という題目で発表をいたしました。

初めての国際会議であり、予稿とパワーポイントの作成には苦戦しました。実際の発表では、慣れないオンライン形式に戸惑いつつも自分らしい発表ができたと思います。また、大学から参加された方々の発表からは研究レベルや発表の場数の違いなどを痛感し、良い刺激を受けました。今後は対面での学会発表も見据え、さらに研究活動に励んでいきたいと思っています。



令和3年度 学生表彰者一覧

1. 学業成績優秀賞(本科卒業生)

氏名	学科名
江尻 勝海	機械工学科
藤谷 京平	電子メディア工学科
矢野 堅斗	電子情報工学科
櫻井 祐太	物質工学科
内山 康太郎	環境都市工学科

2. 課外活動功労賞

氏名	クラス	対象事項
中島 弘翔	5J	学生会長
柳 政斗	5K	男子寮長
大竹 七葉	5M	女子寮長
大川原 大智	5C	陸上競技部部长
大塚 叶登	5C	硬式野球部部长
吉井 響	5C	硬式野球部マネージャー
降旗 竜之介	5C	サッカー部部长
村上 森音	5M	バレーボール部男子部长
堀越 遥	5E	バレーボール部女子部长
清水 佑	5C	バスケットボール部男子部长
出田 亜椰乃	5K	バスケットボール部女子キャプテン
藤井 愛朗	5E	卓球部部长
齊藤 創	5M	柔道部部长
井野 虹輝	5M	水泳部部长
重田 みゆ	5C	水泳部女子代表
石関 隼人	5J	吹奏楽部部长(令和元年度)
小松 由依	5C	吹奏楽部部长(令和2年度)
堀口 奈乃果	5K	吹奏楽部指揮者
白崎 圭祐	5K	理科部代表
高須賀 颯太	5M	茶道部部长
新延 空也	5E	電算部部长
三俣 喜成	5E	演劇部部长
大屋 悟士	5M	ロボット研究会代表
玉井 志穂	5M	エコノパワー愛好会代表
野口 耕佑	5E	フットサル愛好会代表(令和元年度)
亀山 哲広	5J	フットサル愛好会代表(令和2年度)
浅見 健斗	5C	構造デザイン研究会代表
林 美澤	5J	ダンス愛好会代表

3. 特別功労賞

氏名	クラス	クラブ名	対象事項		
金子 美乃莉	2-3(C)	陸上競技部	令和3年度関東信越地区高専体育大会 陸上競技 女子 800m 優勝 女子 3000m 優勝 令和3年度全国高専体育大会 陸上競技 女子 3000m 3位 令和3年度関東信越地区高専体育大会 陸上競技 男子 100m 優勝		
関 優太	1-2(K)	サッカー部	第50回関東高等専門学校サッカー選手権大会・全国大会予選 優勝 令和3年度全国高専体育大会 サッカー競技 3位		
江部 拳翔	5K				
長谷川 柊	5C				
今井 啓太	4M				
尾谷 壮哉	4C				
山本 空澄	3J				
黒澤 大輝	3K				
渡邊 謙太郎	3E				
小林 俊也	3E				
宮下 海光	3K				
渡根木 海	3M				
有賀 光希	3J				
岸 知輝	3E				
新井 颯之介	3C				
齊藤 寛太	2-3(J)			バレーボール部	令和3年度関東信越地区高専体育大会 バレーボール競技 女子部 優勝
原 澤 伶	2-1(E)				
宮原 慶	2-5(K)				
宇津木 大羅	1-2(C)				
石原 和馬	1-5(M)				
富岡 真柊	1-3(E)				
中村 健太	1-2(M)				
石川 涼人	2-3(K)				
中曾根 恋音	3K				
境野 瑚華	1-4(M)				
堀越 遥	5E				
浅見 文香	4M				
川田 帆乃花	4C				
近藤 蒼衣	4K				
船津 野々夏	3K				
赤塚 舞衣	2-2(K)	バスケットボール部	令和3年度関東信越地区高専体育大会 バスケットボール競技 女子部 優勝		
小林 美遥	2-1(C)				
吉田 琴香	2-2(E)				
野崎 まり雅	1-3(C)				
出田 亜椰乃	5K				
北村 希美	3C				
西郷 さくら	3K				
尊馬 涼葉	3K				
森脇 慧	2-2(K)				
小林 由依	2-1(M)				
岡田 志織	1-2(M)				
原 華恋	1-3(C)				
安藤 夢歩	1-5(C)				
菊池 静琉	2-5(C)				
横澤 遥樹	4C				
徳留 歩夢	3M				
鈴木 優斗	3C				
小林 寛弥	3J				
多田 幸之佑	3E				
赤羽 奏地	2-3(K)	ソフトテニス部	令和3年度関東信越地区高専体育大会 ソフトテニス競技 男子団体 優勝		
丹羽 晃崇	2-2(K)				
吉田 和生	1-4(M)				
佐藤 遥	2-4(C)				
櫻井 花梨	1-1(C)				
原 華恋	1-3(C)				
池本 敦哉	2AE			水泳部	令和3年度全国高専体育大会 水泳競技 女子200m個人メドレー 優勝 女子100m自由形 2位 関東信越地区英語弁論大会 レジテーション部門 優勝
木村 一輝	2AE				
山村 樹生	5M				
大屋 悟士	5M				
龍見 政哉	5K				
ムンパートル ビャンドルゴル	5K				
齋藤 輝	5C				
岩佐 茜	3K				

4. 卒業研究優秀賞

氏名	学科名	研究題目
菅原 直弥	機械工学科	レペラフィーダを用いたコイル材矯正における開口量の影響
古戸 颯真	電子メディア工学科	Pdクラスターの磁気的性質に関する研究
石関 隼人	電子情報工学科	RTK-GNSSを用いる移動ロボットの位置姿勢計測の評価
佐々木 真道	物質工学科	製塩蒸発晶析での食塩の凝集への懸濁密度および夾雑イオンの影響
松浦 智亮	環境都市工学科	正観寺沼へ流入する水路の土砂輸送能力の評価に関する研究

5. その他(学会等からの表彰)

氏名	クラス	クラブ名	対象事項
池本 敦哉	2AE		令和3年度(公社)砂防学会研究発表会 優秀発表賞
木村 一輝	2AE		日本海水学会若手会第12回学生研究発表会 優秀賞
山村 樹生	5M		日本機械学会 畠山賞
大屋 悟士	5M		計測自動制御学会 SICE優秀学生賞
龍見 政哉	5K		日本化学会関東支部 支部長賞
ムンパートル ビャンドルゴル	5K		日本化学会関東支部 支部長賞
齋藤 輝	5C		全国高専土木工学会 近藤賞
岩佐 茜	3K	理科部	JSEC2021(第19回)高校生・高専生科学技術チャレンジ 協賛社員(栗田工業)サイエンスキャッスル関東大会 ポスター優秀賞

## 石川薫記念地域文化研究賞受賞

## 地域文化賞(研究賞)を受賞して

一般教科(人文科学) 教授 大島由紀夫

群馬地域文化振興会より第29回石川薫記念地域文化賞・研究賞を頂戴しました。この賞は、群馬県の地域史研究推進に多大な功績を残した石川薫氏の偉業を記念して設けられたもので、功労賞・研究賞・奨励賞の三種があります。私が受賞した研究賞は、これまで考古学・歴史学・民俗学の研究者が受賞されていまして、文学研究の立場からアプローチした私の仕事が地域文化研究に貢献したと評価いただいたことを、大変難しく、嬉しく受けとめています。中世・近世の社寺縁起物語を解析することによって、往時の人々の社会

観・宗教観や自己認識の方法を窺うことができ、現在に至る地域文化の基層解明に有益な視座を提供します。今後も研究進展に努め、その成果を一般の方々にもわかりやすくお伝えしたいと考えています。



## 秋の叙勲【瑞寶小綬章】

## 瑞寶小綬章を受章して

群馬工業高等専門学校 名誉教授 鈴木 福藏

令和3年秋の叙勲で「長年公務にあつて、教育、研究に功績のあった者」とのことで、瑞寶小綬章を授与されるという栄誉に浴することになりました。囑託を含め43年間の勤務はともかく功績があったというのは身に過ぎて気恥ずかしさを覚えずつ、有難く頂戴致しました。歴代校長をはじめとする関係者諸氏に心から感謝するとともに御礼申し上げます。

昭和41年群馬大学工学部に助手として奉職、その後小山高専を経て、昭和61年群馬高専に着任23年間お世話になりました。ちょうど林博男校長の時、着任早々教務主事補を拝命、教務主事の下教務の仕事に追われていたことや当時行われていた全校挙げての榛名登山大会の実施に向け、沿道の下調べや榛名湖での豚汁の手配等に奔走したことが懐かしく思い出されます。登山大会はその後道路状況の変化に伴い、学生の安全を考慮し廃止されることになりました。

授業においては、一般教科の数学、共通専門科目の応用数学を担当。基礎学力の定着と共に創造的な技術者となるために必要な解析力、問題解決能力を身に付けられるよう心掛けました。また、日本数学教育学会の高専・大学部会にも所属、活動し、広く情報を共有、教育に活用、学生の学力向上に努めました。平成7年には全国高専の3年生を対象にした数学の一斉実力テストが実施され、本校は全国トップクラスの成績を納め、本校学生の実力の高さを全国に知らしめました。平成9年に開催された同学会主催による第79回全国算数・数学教育群馬大会では全体会の準備、実行委員会の役員として協力、高専・大学部会を本校で開催、大会の円滑な実施に尽力

しました。

また一般教科(自然科学)の主任として学科の教育・研究及び運営に勤め、特に自然科学では専門学科学生の卒業研究の受け入れを積極的に行い、広く学問への興味を引き出す教育に心をくだきました。当時はまだ大学への編入の門戸は狭く、進学する学生も少なかったのですが、中にはお茶の水女子大学の理学部数学科や大学の物理学科に編入で進学する学生も出て来ました。その後高専にも専攻科ができた、大学編入の門戸も広がり、進路状況も大分変化してきたようで、学校便りを見ると隔世の感を覚えます。当時の学生達の中には大学の准教授として第一線の研究に携わる者や、イランからの留学生は帰国後現地の日本大使館で日・斯両国の懸け橋として活躍するなど、種々の分野で活躍しており、頼もしい限りです。

定年退官後は、研究を継続する傍ら前橋地方裁判所の調停委員、司法委員として調停制度にも寄与することが出来たのは幸でした。

現在はガタの来た身体のお守りをしながら、蘭の手入れを楽しみにし、今年初めて胡蝶蘭を咲かせることが出来ました。

群馬高専の更なる発展を祈念しております。今後も宜しく願い致します。



## 編集後記

令和2年度に広報委員長を拝命し、文才の無いことを感じながら、その都度、学校だより編集後記を書かせて頂きました。結果的に、この期間は、新型コロナ感染症パンデミックと完全に重なることになりました。振り返れば、第1波による学校行事縮小で苦難の末に発刊した第120、121合併号に始まり、今回の第6波における125号となります。新型コロナ感染症の影響により紙面の調整に悩み、その対応を編集後記においても書かせて頂いたような状況です。そのような中で、今年度は、いくつか群馬高専にとって明るい話題もありました。直近では、機械工学科平社教授ならびに、その研究室の所属学生が果たした超小型衛星「KOSEN-1」の開発と衛星軌道における運用です。自分の手掛けたものが、宇宙という非日常的な空間で存在しているという経験を通して、学生たちには将来の夢がより身近に感じられるようになったであろうと思います。

コロナ禍の中、ご寄稿頂いた皆様をはじめ、取りまとめやご編集を行って頂いた高橋先生、ならびに総務課下田様に大変感謝申し上げます。  
(広報委員長 市村 智康)